

アセンションBOOK 22

アセンションと創造主

NO3 2016年4月

## アセンションと創造主 NO3

### 闇に落ちた創造主の反逆



## 闇に落ちた創造主の反逆 目次

- 第1章 地球外生命体と創造主
- 第2章 「愛と慈愛の創造主」の怒り
- 第3章 「新時代を司る創造主」の野望
- 第4章 「全なる闇の創造主」のたくらみ
- 第5章 「制約の創造主」と「全ての世界のエネルギーを生みだす創造主」
- 第6章 「宇宙のひな型を作る創造主」の反乱
- 第7章 地球のアセンション計画の予定  
光りの世界の区分(極秘事項)  
これから私達が歩む光の世界について  
制限の多い地球を卒業するための試練について

作者 瀬戸武志 & 宇宙の光

アセンションブック

<https://www.k-suai.com/sp/index.html>

宇宙の光公式 HP

<http://hikari1.com/sp/index.html>

アセンション評議会

<http://s-sun1.com/sp/index.html>

アメブロ光の世界へ

<http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI [yume34@k-suai.com](mailto:yume34@k-suai.com)

イラスト

えんじえる (佐藤弘之)

アメブロ <http://ameblo.jp/angel-art2010/>

# 第1章 地球外生命体と創造

## 主—アセンションの危機

### PART1 スターピープルとダークピープル達

アセンションが進む中で、私達はさらなる活動に踏み込んでいきます。

それは、地球が光の世界と学びの世界に分離されていく時、光の世界に入る人達を引き留め地球のアセンションを妨害しようとする地球外生命体達から、光の地球とそこに行く人々を守護する事です。

地球外生命体達は、主に2種類存在します。

それは、地球人を成長させるために、人々をより良い方向へ導く善良な地球外生命体達(スターピープル)と地球を支配し地球人を自分達の思いのままに利用したいと考えている狡猾なダークピープル達です。

良心的な地球外生命体達であるスターピープルは、天の川銀河の中でも、地球よりも早くアセンションを行い、宇宙のために活動している星々の人達の事です。

主にアンドロメダ座、シリウス、ベガ、アルクツールス、プレアデイス星団の人々が、現在地球に関わっています。

彼等は高度な叡智と優れた技術、そして宇宙の平和を望む強い意志を持って、この宇宙に奉仕しています。

各星固有のスターピープルとは別に、高度な叡智を持つ星々のメンバー達が集まって作られたアシュタールや銀河連合といったグループも存在しています。

彼等は常に、宇宙の進化のために、どの星に、どのような方法で関わるか協議を行っています。

私達は常に、アシユタールの中心的なメンバーと協力しながら仕事を行っています。

今回の地球のアセンションは、地球だけの問題ではなく、天の川銀河全体に関わる事なので、各星々のスターピープルだけでなく、アシユタールや天の川銀河の宇宙連合も地球のアセンションを成功させるために働いています。私達は、彼らの事を地球外生命体と呼ぶのではなく、尊敬をこめてスターピープルと呼ぶ事にしました。

それに対して、地球を支配したいと考える地球外生命体であるダークピープル達は、地球に生きている人々を利用して、自分達の勢力を拡大し、地球の支配権を得ようと、お互いが争っています。

現在、地球の中で起こっている宗教的な抗争や政治的な対立は、その事によって起きている可能性があります。

地球を支配したいと考えるダークピープル達の多くは、ディセンションした星からきています。

つまり、一つの星がアセンションを行うと、そこに住む人々は飛躍的に意識が成長して、善良なスターピープルへと育っていきませんが、アセンションの反動として生み出されたディセンションの世界は、未だ争いが絶えない世界なので、さらに狡猾で残忍な地球外生命体達へと育っていく事になります。

ひとつの星のアセンションをきっかけに、ひとつの種族が、異なる考えをもった 2 つの種族に分かれる事があります。

天の川銀河にあるいくつもの星は、地球よりも先にアセンションを行いました。

その星の人達の中で、愛と叡智に満ちている人は、その星のアセンションした世界に行きます。

彼等は、自分達の能力をさらに高めて、他の叡智あるスターピープル達と共に宇宙をより良い方向に導くために活動します。

しかし同じ星でも、支配欲や物欲などを強く持ち、争いを好む人々は、そのような人達ばかりが集まり、今まで以上に争いや奪い合いが多い世界を作り出します。

これがディセンションした世界です。

そこに住む人々は、この世界で様々な苦しみを経験し、支配欲や物欲などを捨て意識の成長を計る事になります。

しかしながら、時折、ディセンションした世界を制圧し、さらに権力を高めた存在が生まれてくる事があります。

彼等は、まるで独裁者のように仲間達を従え、強力な組織と狡猾さに満ちた戦略を持って自分達の星だけでなく、他の星々を支配するために宇宙を渡り歩きます。

現在地球は、アセンションによって不安定な状態にあるために、このようなディセンションした星々の人達が、地球を手に入れる為にたくさんやってきているのです。

彼らは、地球のアセンションの要である私達や「地球のアセンション評議会」に対して、様々なサイキックアタックを行い地球のアセンションを妨害しようとしています。

私達は、地球のアセンションを支えるスターピープルや地球のアセンションを計画した創造主達と共に、狡猾な地球外生命体達と戦い、地球のアセンションを進めています。

時には、地球のアセンションを行うために作られた光のゲートがダークピープル達に利用され、光の世界に来るはずもない闇の存在達が流れ込んできた事もありました。

あるいは、闇の世界とつながるゲートが開かれ、闇のドラゴン達が地球に放たれて、地球を荒らしまわった事も度々あります。

私達と関わっている人々の感情やエゴを利用して、私達のスピリットに苦しみを与え身体に大きな痛みを残す事も良くあります。

そして何よりも彼らは、人々に、お金儲けや政治、ヒーリング、スピリチュアル等に関わる特殊な能力を与える事で、自分を特別な存在だと思い込ませ、人々の欲望と傲慢さをかきたてていくのです。

人々は、その力を与えたダークピープル達を神と同一視し、ダークピープル達を信仰し依存するような体質を作っていきます。

人々は、自分の特殊な能力やそれによってもたらされた様々な利益に執着しますので、ダークピープルと共に活動する事を望み、彼らを分離する事が出来なくなるのです。

本来は、光の世界に行くべき人であっても、そのような事を繰り返しているうちに、自分自身の光を奪われ、やがて地球外生命体と共に、ディセンションした世界に行き、そこで新たな学びを行わなければならなくなります。

もちろんスターピープル達は、そのような人にも手を差し伸べますが、そのような人はすでに、物事の真実に気づく能力を失い、幻想の世界をみせられていますので、スターピープル達の事を、自分を否定する嫌な存在だとおもいこみ、彼らの言葉に耳を傾ける事をしなくなります。

私達は、一人でも多くの人にダークピープル達の罠から抜け出し、光の世界へと進んで頂きたいと思っていますが、現状はあまりにも厳しいようです。

## PART2 「全ての秩序を作る創造主」とダークピープル達

ダークピープル達の中でも、特に問題があるグループがいくつかあります。

その一つが、闇のアシュタールと呼んでいるグループです。

これはディセンションした星の人々が、光の世界のアシュタールをまねて作ったグループです。

彼らも自分達の事を、アシュタールと名乗り、地球人にコンタクトしてきますので注意が必要です。

闇のアシュタールは、大きな組織力と狡猾さを持って、地球のアセンションを妨げるために活動していますので、私達は何度も彼らとぶつかり合う事となりました。

そしてもうひとつは、「紫色のピラミッド」を象徴とするグループです。

彼らは、人々の精神のコントロールに非常に長けており、様々なヒーリングやスピリチュアルな活動を通して人の心の中に入り込みます。

そして、人々にヒーリングやスピリチュアルに関する特別な能力を与える事で、自分を特別な存在であると思い込ませ、支配欲や物欲を高めさせていきます。

しかし、これらのグループに関わる事で、本来の光のマスター達からは遠ざかっていきます。

私達は、2016年の5月、地球のアセンションが進み、世界の分離が行われている頃、闇のアシユータル達によって仕掛けられた罠を取り除いていく中で、彼等の本拠地を見つけました。

しかし、彼らを捕えようとしていた時に、とても大きな妨害のエネルギーが働いてきたのです。

光の創造主にお願いして、そのエネルギーを明らかにしていくと、今までの創造主よりもさらに大きな力を持った創造主が私達の前に立ちはだかっている事が分かりました。

光の創造主の系列に関しては、前回数名の創造主に退いてもらい、これからの世界を担う創造主達によって、「創造主評議会」が作られました。

それによって、光の創造主の世界は正常化したと思われていたのですが、まだ問題となる創造主が残っていたようです。

しかも創造主評議会のメンバー達よりも上の創造主のようです。

私は、創造主評議会のメンバーを生み出した「創造主の母なる創造主」に来てもらい事情を聴きました。

そうすると、今回私達の前に現れて、私達の活動を妨害している創造主は、もともと「創造主の母なる創造主」と共に活動していた「全ての秩序を作る創造主」と呼ばれていた創造主でした。

彼は、非常に厳しい秩序を作り、他の創造主を無理に従わせようとした事で、多くの創造主が苦しみをあじわっていました。

前回、創造主評議会を作るときに、「創造主の母なる創造主」の下にいる4人の創造主のうち3人の創造主が希望を失い光に帰っていましたが、原因はこの創造主だったようです。



す。

「創造主の母なる創造主」は、驚いた表情で話します。

「私達創造主はこの「全ての秩序を作る創造主」に、自分達の世界に関わらないように、彼に適した宇宙に送り込み、閉じ込めていたのです。

しかし、「全ての星を生みだす創造主」が、彼の世界を開いて、私達の宇宙に再び関われるようにしたようです。

これは大変な事になってしまいました。

「全ての秩序を作る創造主」の次のように主張してきます。

「私は、この地球がさらに力強い光りの地球となるために、今の地球に、さらに力が強い光の存在を増やさなければならない。

その為に、地球に多くの障害を作り出し、光の存在を鍛えなければいけないのです。

今のアセンションを少々遅らせたとしても、さらにたくさんの光の存在が地球に育たなければ、アセンションの意味がないのだ。」

「全ての秩序を作る創造主」の言い分も確かです。

おそらく、彼が闇のアシュタールと「紫ピラミッド」のグループに力を与え強力にしたうえで、地球に送り込んだようです。

闇のアシュタールと「紫ピラミッド」のグループは、「全ての秩序を作る創造主」の力を背景として、私達の前に立ちはだかり、アセンションを妨害してきました。

しかし、私達は、そのような地球外生命体達を取り締まるために、地球人をだましたり、地球人を攻撃したりする地球外生命体は逮捕する事が出来る「エイリアン法」を作り対抗してきたのです。

しかしここにきて、ようやくその黒幕が分かりました。

私達は、彼がこのまま創造主の立場に君臨していたなら、私達に対する攻撃も強くなり、アセンションも失敗する可能性もあるので、この創造主に、地上に降りて創造主としての力を発揮し、自分の理想の世界を作ってもらおうようお願いしました。

この創造主は自信ありげにうなずき、地球に降りていきました。

そして、第1次世界大戦から第2次世界大戦の時の日本に降りて行ったようです。

私は、彼が地球に降りていった時を見計らって、「創造主の母なる創造主」と「全ての秩序を作る創造主」を生み出したさらに高次の創造主に来てもらい、今回の事についての判断をお伺いしました。

「光の楽園の創造主」と呼ばれる創造主は、さらに大きな光をまとって現れました。

「光の楽園の創造主」は、我々が行った事を認めてくださり、地球のアセンションに向けてさらに努力するように伝えて下さりました。

そして「全ての秩序を作る創造主」に関しては、創造主としての権限をなくし、しばらく地球での人生を繰り返して多くの事を学んでもらう事にしました。

私達にとっては、これほど高次の創造主であるにも関わらず、他の創造主の仕事を邪魔する創造主がいる事に残念な気がします。

そのような私達の気持ちを察して、「光の楽園の創造主」は私に、ひとつの申し出を行います。

「TAKESHI さん、本当に申し訳ない事をしました。

全ての創造主がみな正直な創造主ばかりで

はないので、このような事が起きてしまいます。

あなたには、失望させてしまったかもしれません。

私は、あなたと創造主評議会に創造主の本当の目的や気持ちを知る事が出来る権限を与えましょう。

これからも、おそらく様々な創造主と話をしなければなりません。

その時にきっと役に立つでしょう。」

これで、私達は、私達のアセンションを妨げる創造主達の考えを知り、それを未然に防ぐ事が出来ます。

「全ての秩序を作る創造主」が地上におり、創造主としての実権を失った事により、闇のアシュタールや「紫ピラミッド」のグループも急速に力を失っていきます。

私達は、闇のアシュタールの本拠地が、みずがめ座のある星にある事を突き止め、光のアシュタールや宇宙警備隊を中心に彼らの本拠地に入ります。

私達は、彼らのメンバーを捕えるとともに彼らが隠しているゲートを開き、そこに捕らわれているたくさんの人々のスピリットを救いだします。

そして本拠地の通信機能を使い、他の拠点を調べ上げました。

闇のアシュタールの拠点は、他にもみずがめ座に3つ、そしてへび座やりゅう座にもあるようです。

私達は、全ての警備隊や天の川連合の騎士団、天使達にもお願いして、その拠点に入り、闇のアシュタール達を捕えて拠点を破壊していきます。

彼らのメンバーのなかでも、すでに地上に降

りて地球人と同一化して活躍しているメンバーもいるようです。

私達は、闇のアシュタールの通信機能を使って、彼らにも呼びかけました。

「地球に降りた闇のアシュタールの者達よ。あなた方を利用し地球を闇の世界に貶めようとしていた者達はすべて逮捕されました。

アシュタールの拠点はその多くが壊滅し、仲間達もつかまりました。

地上に降り立った皆さんは戻る場所を失い、今皆さんが取りついている地球人と共に、これから深い闇の中に取り残されるでしょう。

もし今私達の下に戻るなら、これ以上の苦痛や闇の世界での労働から解放される事でしょう。」

私達が、地球人に取り付いている闇のアシュタールのメンバーに呼びかけると、多くのメンバーが地上の人々から離れ、私達の下に戻ってきました。

彼等はあきらめた様子で素直に光の中に帰っていきました。

彼らも、闇のアシュタールに騙されて働かされていた被害者だったのです。

私達は、闇のアシュタールの処理が終わると、「紫ピラミッド」のグループのもとに向かいました。

彼らも、へびつかい座やみずがめ座などのディセンションした星の人達の集まりです。

彼らは知能が優れ、魔法力も持っており、人々をだます事に欠けては非常に才能があるグループでした。

しかし「全ての秩序を作る創造主」が撤退した事により、彼らも力を失い、私達に対抗する事が難しくなってきたようです。

彼等は、魔法を使って様々な場所に逃げ隠れているようですが、騎士団達によって発見され捕まっています。

やがて彼らの本拠地も明るみになり「紫ピラミッド」のグループは壊滅していきましたが、すでに地上の人々に繋がっている存在に関しては、処理をする事はできませんので、地球のアセンションと共に、光の世界からは分離していく事となるでしょう。

これで、地球にとって大きな脅威は、またひとつ消えていきました。

## 第2章 「愛と慈愛の創造主」

### の怒り

#### PART1 だまされていた地球のアセンション 評議会

2016年5月の連休に入る事になると、私達は一つの異変に気づきました。

それは、私達の周りに異様なエネルギーを感じるのです。

それは生きている者でもなく、完全なスピリチュアルな存在でもありません。

また或る時、私達の家の子ヤムが、断続的に2時間くらいならされ続けた事もありました。

いたずらにしては悪質ですし、言いようのない恐怖も感じましたので、警察を呼び対処してもらう事にしました。

物理世界にいる人を通して、誰かが私達に危害を加えようとしている可能性があったからです。

しかし、本当の所、ドアに近づく足跡も付近に誰かがいる雰囲気もなく、人影のようなエネルギーが残っていたので、これは人ではなく半物質状態の存在である事が分かりました。

その存在は、私達に精神的な恐怖感を与えたという事で、すぐにエイリアン法によって逮捕されましたが、どうやら、ダークピープル達を次々と片付けていっている私達に対しての「いやがらせ」のようでした。

私達の職場や自宅の上にも大きなダークピープル達の母船が来ていて、仕事中の私の体にチクッと針を刺し、私のエネルギーを奪うためのコードを入れられたりした事もありました。

また、私達の古い感情である恐怖や苦痛を呼び覚まし、精神的なダメージを与える事もありました。

このように、ダークピープル達が、私達にサイキックアタックを行って、私達の活動を妨害する事も頻繁に起こってきたのです。

アシュタールのメンバーに聴くと、最近関わってきているダークピープル達は、いずれも宇宙のならず者やディセンションした星から来たグループばかりです。

アシュタールは、今まで捕まえる事ができなかったダークピープル達をエイリアン法によって逮捕できますので、ここぞとばかり、ならず者達を逮捕していています。

しかし、地球は、多次元世界につながるゲートを閉じて、閉鎖的な世界に向かっているのに、今まで見た事もないダークピープル達がたくさん現れてきている事に、私達は不思議さを感じています。

本来ならば、ダークピープル達はどんどん少なくなっていくはずなのに、かえって私達を攻撃してくるダークピープル達が増えているのです。

私は、地球のアセンション評議会を呼び出し、地球のゲートがきちんと閉じられているのか調べさせました。

サナンダもサナートクマラも、地球のゲートは完全に閉じられつつあるように報告してきましたが、どうも信じられません。

アシュタールのメンバーに調べてもらおうと、大変な事に地球の各地に大きな穴が明けられ、そこから様々なダークピープル達が自由に行き来しているのです。

これには、アセンション評議会のみならずアシ

ユタール達も驚きました。

これでは、地球のアセンションが進むばかりか、この地球に今まで以上の問題のあるダークピープル達が押し寄せてきて、地球は滅茶苦茶な事になってしまいます。

地球は、今アセンションの途中なので、光を求める存在達が、光ある人々から光を奪うために、押し寄せてきているのです。

サナンダ達は、地球のゲートを閉じる役目を行うゲートキーパー達を全員集めました。

およそ20名近くのゲートキーパーが集まりましたが、調べてみると半数近くのゲートキーパーが、先日処理した「全ての秩序を作る創造主」の指令を受けて、地球に多くのゲートを開き、多数のダークピープル達を迎え入れていたようです。

そして、ゲートキーパーのみならず地球のアセンション評議会のメンバー全員が、「幻影の創造主」の影響を受けて、ゲートがきちんとしてしまっているという幻影を見せられていたようです。

サナートクマラを初めしっかり者のサナンダさえも「全ての秩序を作る創造主」と幻影の創造主によっていとも簡単にだまされていたのです。

私達は、「全ての秩序を作る創造主」の権限を剥奪し、地上に降ろしてくれた「光の楽園の創造主」にお願いして「全ての秩序を作る創造主」と「幻影の創造主」の影響を綺麗に拭い去ってもらいました。

「全ての秩序を作る創造主」は、私達が作った「創造主評議会」よりも上の創造主なので、「創造主評議会」では、その策略を見抜き防御できなかったようです。



しかし問題は、ゲートだけではありませんでした。

地球の各地に仕掛けてある「アセンション推進装置」と呼んでいる機械の操作にも異常が見つかりました。

この機械は、地球の波動を上げる事で、光の地球と学びの地球を分離する為の機械なのですが、このエネルギーが反転されて、地球の波動を下げるために使われていたようです。

そのために、波動が低いダークピープル達が、たくさん地球に入る事ができ、自由に活動できるような環境にされていたのです。

この事には、私達も冷や汗が出ました。

もしこの事に気づかなければ、私達のアセンションは成功する事はなかったでしょう。

サナンダもサナートクマラも、事態の深刻さと自分達が見事にだまされていた事にがっくりとうなだれています。

彼等には、上位の創造主のたくらみを見抜く力も、それを阻止する権限もないので仕方がない事です。

私は、「光の楽園の創造主」に、「アセンション推進装置」の操作も「全ての秩序を作る創造主」が行ったのかと尋ねると、「光の楽園の創造主」はすこし考えた後で、「いや、「全ての秩序を作る創造主」ではなく、共犯者がいるようです。」と答えました。

「光の楽園の創造主」には心あたりがあるようですが、しばらく黙っています。

誰かを探しているようです。

「分かりました。」と「光の楽園の創造主」が言いました。

「それは愛と慈しみの創造主です。」

私達は、驚きました。

「愛と慈しみの創造主」といえば、聖母マリアのお母さんのような創造主ではないかと思ったからです。

## PART2 「愛と慈愛の創造主」の怒り

「光の楽園の創造主」は、私達に「愛と慈愛の創造主」は、大きな問題を抱えているのである場所に隔離をして活動できないようにしていたのだが、どうやら「全ての秩序を作る創造主」が、その隔離を解いてしまったようだと言ってくれました。

私達は「愛と慈愛の創造主」に出てきてもらい、話をする事にしました。

「愛と慈愛の創造主」は優しい表情で出てこられました。

この創造主は、私達が存在する宇宙全てに「愛と慈愛」を満たす存在であり、全ての生命の母親のような存在であるように私には思えます。

私達は、この創造主のどこが問題なのだろうと思い、話し始めました。

私は「愛と慈愛の創造主」に地球のアセンションについてどのように考えているか、意見をお聞きしました。

「地球のアセンションはとても大切な事です。私達にとっても、地球の人達にとっても、アセンションを行う事は、大きな意識の成長となります。

私は、この宇宙の人々が、更なる意識の進化を行い、愛と慈しみを分かち合って生きていければと考えています。

しかし今の地球を見ると、あまりにもアセンションする人が少ないように思えます。

もっとたくさんの方が、今よりも早くアセンションできるようになるとよいと思います。」

私は、「愛と慈愛の創造主」のという言葉に共鳴して、私もそうであると伝えました。

私は、聖母マリアに来てもらい、あなたを生みだした創造主にお話しする事はないかと尋ねました。

すると聖母マリアが驚く事を言い始めたのです。

「「愛と慈愛の創造主」様、私はあなたの一部にしかすぎませんが、あなたの中にある怒りや不満が、私の中にも流れ込んできます。

あなたの中にある怒りと不満は、私達の持つ愛とは性格を異にするものです。

あなたは何故、そのような怒りと不満をお持ちになっているのですか？」

「愛と慈愛の創造主」の表情が一変してとても恐ろしい夜叉のような表情に変わりました。その場にいた多くの者達が、その恐ろしさに後ずさりをします。

「私は、地球だけでなく、この宇宙に愛と慈愛をもたらした創造主よ、地球の中で生きてきたあなたに何が分かるというの、馬鹿げた事を言わないで！

たくさん地球の人がアセンションできないのは、あなたがたがしっかりと働いていないからでしょう。

光をもって地球に生きているくせに、どうしてもっとしっかり働かないの、全てはあなた達が悪いのよ。」

聖母マリアは、「愛と慈愛の創造主」の言葉に動じる様子もなく答えます。

「地球に生きてきたからこそ分かるのです。」

地球は闇が多く、多くの人々の心が闇に支配されています。

だからこそ、私は無償の愛を全ての人にささげてきました。

しかし、今のあなたには、燃えたぎるような怒りと攻撃的な感情しか感じられません。」

私は急いで中に入ります。

「愛と慈愛の創造主」よ、確かに地球のアセンションは遅れていますし、本当に少しの人しかアセンションできないのは、私達の責任でもあります。

しかし、それを引き起こしたのは、創造主同士の争いのために、地球に闇が増えて、地球の光あふれる人々が闇にとらわれてしまったせいなのです。」

「愛と慈愛の創造主」は、私達のいう事に聴く耳を持たず、怒鳴り散らしています。

私は、「愛と慈愛の創造主」に、この地球に降りて、人々をあなたが望むような世界に導いてもらえないかとお願ひしました。

「愛と慈愛の創造主」は、「もちろん私が地球に降りるからには、地球はすぐに光りの世界になるわ。」とあって、自分の一部をこの地球上に降ろしていきました。

私達は、地上に降りた「愛と慈愛の創造主」がどのような仕事をしているのか、地球で活躍している「愛と慈愛の創造主」の姿を見ってみました。

すると「愛と慈愛の創造主」が、地球に送った分身は、ドイツのヒトラーになっているではないですか、その姿を見た「愛と慈愛の創造主」は言葉を失って佇んでいます。

ヒトラーは自分の民族を光の民族にするために、他の民族を抑圧し、自分達の優越性を誇示しているのです。

そこには、変わり果てた「愛と慈愛」がありました。

「私は間違えていました。

地球をアセンションさせるどころか、私の愛は、怒りによってまったく異なるものになってしまいました。

多くの人々の生命を奪い、地球を闇の世界へと突き落としてしまいました。

私は、その責任を取って、創造主である事をやめ、地球でただの一人の人間として生きていきます。

私は地上に下ります。」

「愛と慈愛の創造主」は、肩を震わせて泣いているようにも見えます。

私は、「愛と慈愛の創造主」に声をかけます。

「地球に下るときは「愛と慈愛」の光を一欠片持って行ってください。」

「愛と慈愛の創造主」は、多くの創造主の見守る中、地球に下っていきました。

聖母マリアが、心配そうに見送っています。

私達は、地上に降りた「愛と慈愛の創造主」がどのような事をしているか、心配しながらのぞいてみました。

私達の目に映っていたのは、貧しい身なりをしながらも、一生懸命人々に尽くしているマザーテレサの姿でした。

私達は、聖母マリアと目を合わせながら安堵の溜息をつきます。

聖母マリアの目には、うっすらと涙が浮かんでいます。

しかし、問題は、「愛と慈愛の創造主」に連なるラインです。

「愛と浄化の創造主」や「至高なる愛の創造主」そしてグレートマリア達にも、「愛と慈愛の

創造主」の怒りのエネルギーが流れ込み、愛の光を持つ創造主の系譜に、とても大きな問題が生じてしまっています。

私は「光の楽園の創造主」にお願いして、愛の創造主の系譜を束ねるものとして「愛と覚醒の創造主」を作ってくださいるようにお願いしました。

人々を愛し慈しむ事も大切ですが、人々が窮地に陥らないように、自分自身の光に覚醒させ、自らを助ける事ができるようにするための光を放つ事のほうがこれから大切になるでしょう。

誰かに依存するのではなく、自分自身が目覚める事がアセンションしていく人の絶対条件だからです。

私は「愛と覚醒の創造主」に愛の系譜にある創造主と女神達をゆだねる事にしました。

## 第3章 アセンションを強行 する「新時代を司る創造主」

### PART1 アセンションの監督者「新時代を司る創造主」

私達は、「愛と慈愛の創造主」が、地球に降り立つ姿を見送った後、「光の楽園の創造主」にほかに問題となる創造主はいないかと尋ねました。

おそらく、「光の楽園の創造主」と同格のラインにまだ問題がある創造主が存在している可能性があるからです。

「光の楽園の創造主」は困った顔をして、「まだいますがその創造主は眠っているから大丈夫です。」と答えますが、不安が残ります。その創造主は、「生と死の創造主」と呼ばれている創造主で、すべての生命の生死を判断する事ができます。

もし彼が一つの星の生命が不要だと考えると、その瞬間にその星の生命はすべて死に絶えてしまうという力をもった創造主ですが、その判断は理性に欠け、自分の思った通りにその力を行行使するので、上位の創造主から眠らされているという事でした。

しかしその創造主も、何らかの力によって急に目覚めさせられ、その力を行行使するかもしれません。

その力が地球に向けられると、私達の命も瞬時にしてなくなる事になりそうです。

これでは、私達も対策が取れませんので、「光の楽園の創造主」と相談して、この「生と死の

創造主」は、創造主としての力を消滅させ地球に、一人の人間として降ろす事にしました。何の罪もない創造主ですが、この宇宙の安全のために、そのような処置をさせていただきました。

更に私は、「光の楽園の創造主」に、ほかにも問題となる創造主はいないかと尋ねました。「もう一人、創造主が私達と同じラインにいらっしゃると思いますが、今回は、私達の活動に関わらない事になっております。その方は、「新時代を司る創造主」と呼ばれる方で、あたらしい宇宙やアセンションを専門とされている創造主です。」

私は、アセンションを担当する創造主がいながら、今回の地球のアセンションに関わっていない理由を尋ねました。

「全てのアセンションや宇宙の創造は、「新時代を司る創造主」が計画し実行します。

今までも多くの星々が、この創造主によってアセンションを行いました。

しかし、彼が担当してきた星々は、地球のような物理世界を持たないスピリチュアルな世界のための星ばかりでした。

その様な星に住む人達は、スピリット体として意識の統一がなされており、アセンションそのものは難しいものではありませんでした。」

私は、「光の楽園の創造主」に尋ねます。

「この宇宙では、地球のように物理世界をもってアセンションした星はないのですか。」

「全くないわけではありません。この宇宙にもわずかですが、数例存在します。

その星の人達は、単一の種族から作られ、意識の統合が図られていたために、アセンションに関して問題はありませんでした。

しかし、地球のように、様々な意識を持つ人達



が混在しているうえに、多くの地球外生命達や意見の異なる創造主達が関与している星がアセンションしたためしはありません。」

「それでは、物質世界を持っている星はどのような形でアセンションしたのですか。」

私の問いに「光の楽園の創造主」は、しばらく沈黙していたのですが、重たい口を開きます。「それは、隕石の落下や地震などの自然災害によって、その星が壊滅する事で、人々は肉体を失いスピリットとしてアセンションしていきました。

それが、「新時代を司る創造主」のやり方なのです。」

私は、背筋に冷たいものが走ります。

もし「新時代を司る創造主」が地球のアセンションに関わってきたなら、地球のアセンションも、大きな自然災害などによって、多くの人々が肉体を失い、スピリットとしてアセンションする事になるようです。

実は、地球の遥か昔にも、大きな文明の移り変わりの時に、この事が一度となく行われてきたようです。

今回は、人間が肉体を失ってアセンションするのではなく、肉体をもったままアセンションを行うように、綿密に計画が練られ、私達が地球に降ろされ、アセンションを進めているのです。

「新時代を司る創造主」が、今回の地球のアセンションに関わってきたなら、大変な事になります。

おそらく、先ほど処理した「生と死の創造主」と手を組んで、大掛かりな自然災害を引き越し、多くの人々の命を奪う事となったでしょう。

私達は、どうかこの創造主が出てこないようにと祈る事にしました。

しかし、私達の祈りは見事に打ち破られました。

翌日のお昼頃、仕事をしていた私の心の中に、私達やアシュタール、地球のアセンション評議会、さらにはミカエルとドラゴン騎士団達の動きが、まるで時を止められたかのように止められている映像が流れ込んできました。

そして次の瞬間、地球にたくさんの隕石が降り注いでいきます。

いたるところで火山も噴火し大きな地震や津波が街々を襲います。

それは大陸や国を問わず、世界各地で行われ、多くの人々が逃げまどい傷つき命を失っていきます。

私はすぐにメンバー達とコンタクトを取りました。

するとアシュタールや地球のアセンション評議会のメンバー達も、同じようなビジョンを見えています。

どうやら、「新時代を司る創造主」が動き出したようです。

このビジョンが現実となる前に「新時代を司る創造主」によるアセンションを止めなくてははいけません。

私は「光の楽園の創造主」にコンタクトを取り、どのような状況であるか尋ねました。

「TAKESHI さん、やはり「新時代を司る創造主」が動き出しました。

今は、私ともう一人の創造主で彼を抑えています。いつまで抑えられるかわかりませんのでよろしくお願いします。」

私は仕事が終わる次第、この事に取り掛かる事を約束しました。

私は、仕事をしながらも「新時代を司る創造主」に対する対策をずっと考え続けています。そして「創造主評議会」や光の創造主達にも、いざという時のための対策を考えるように指示を出しました。

仕事が終わって家に戻ると、すぐにアシュタールやアセンション評議会、そして創造主評議会、「光の楽園の創造主」にも来てもらい対策を練る事にしました。

まず「光の楽園の創造主」や「新時代を司る創造主」を生みだした創造主とお会いしてその意向をお伺いする事にしましたが、その前にこの「光の楽園の創造主」達の創造主の配置を調べる事にしました。

「光の楽園の創造主」を生みだした創造主は「すべての母性となる創造主」のようです。この「すべての母性となる創造主」は、この宇宙に愛を広げ、生命をはぐくむ事が役目のようです。

「新時代を司る創造主」を生みだした創造主は「すべての時代を司る創造主」です。この「すべての時代を司る創造主」によって、宇宙のすべての世界が生まれだされているようです。

先日地球に降り立った「愛と慈愛の創造主」は「すべての母性となる創造主」と「すべての時代を司る創造主」の2人から生み出された創造主でした。

そして「光の楽園の創造主」がもう一人の創造主と呼んでいたのは、「公正さを司る創造主」と呼ばれる方のようです。

彼を生みだしたのは、「すべての判断を見守る創造主」と呼ばれる創造主で、自分では宇宙の創造を行う事なませんが、その宇宙が適正に運営されているか、創造主達の判断が

適切であるかを常に見守る役目をもっています。

「生と死の創造主」は、この「すべての判断を見守る創造主」と異なる世界の創造主との間に生み出された創造主のようです。

「新時代を司る創造主」の上にいる 3 人の創造主（「すべての母性となる創造主」、「すべての判断を見守る創造主」、「すべての時代を司る創造主」）と話をしてみると、やはり「すべての時代を司る創造主」の意見が他の2人の創造主と異なるようです。

これでは意見がまとまりませんので、私は更にその上に位置する「全ての光の創造主」に来てもらい話を聞く事にしました。

神々しい光と共に現れた「全ての光の創造主」は、にこやかに笑いながら、

「いろいろともめているようですね。

それも皆さんにとって必要な事ですよ。」と私達に語りかけてきました。

私は「全ての光の創造主」に、地球のアセンションに対する方針をお伺いしました。

「そうですね、今回の地球のアセンションは、物理的な肉体を持ったままアセンションする事に大きな意味がありますので、地球の人達を中心として進めてください。」

「全ての光の創造主」はその事を伝えるとすっと消えていきました。

私は、「全ての光の創造主」の意思を確認した後、「新時代を司る創造主」と話を行うために「新時代を司る創造主」を、私達のもとに呼び出しました。

## PART2 「新時代を司る創造主」とアセンション計画の変更

私達の前に現れた「新時代を司る創造主」はすこし不機嫌な顔をしています。

しかし、ここで怒らせてしまえば、地球に隕石の嵐が降り注ぐ事になります。

私は、「新時代を司る創造主」の偉業をたたえた後、地球のアセンションについての意見を聞きました。

彼は憮然とした表情で答えます。

「地球のアセンションは予定よりもかなり遅れているようですね。

そしてアセンションしていく人々も少ないようですが、いったいどうしたのですか。

アセンションをもっと素早く行う方法があるというのに、何故皆さんは足踏みしているのですか。」

私は、地球が様々な考えを持った人がいて一つにまとまる事が難しいため、光の地球と学びの地球に分割してアセンションの準備を進めている事、多くの創造主達やダークピープル達からの介入がありアセンションの進行が困難を極めている事などを話しましたが、「新時代を司る創造主」にはなかなか理解してもらえません。

おそらく彼は、今回のアセンションだけでなく、過去のファラオの時代や何度かあったアセンションの機会をうまく生かせなかった事に対しても怒っているようです。

「新時代を司る創造主」は、自分のやり方で地球のアセンションを行いたいと強く主張してきました。

私は「新時代を司る創造主」に話し始めまし

た。

「新時代を司る創造主」よ、あなたは、今まで多くの星々をアセンションさせてきました。

その中には、物理世界をもった星々もあったはずですが、今までは物理世界を残したままアセンションさせた経験はないはずです。

私達が取り組んでいるのは、まさにその事です。

私達の試みが成功すれば、この宇宙の中で数多くある物理世界を持つ星々が、物理世界をもったままアセンションする事が可能になります。

そこに生きるすべての存在やスターピープルは、物理世界でのアセンションを体験する事でさらに素晴らしい成長を遂げる事ができるのです。

この闇が深い地球で、闇に対する対処法を学び、自ら闇の世界と決別する事ができれば、その叡智は、物質的な宇宙に生きるすべての存在達にとって大きな救いとなります。

またこの事を学ぶために、今多くのスターピープル達が地球人として生まれ、このアセンションを体験しようとしているのです。

そしてそのアセンションは、間もなく完成しようとしています。

たとえ、地球に生きる人々を覚醒させるためであったとしても、地球の物理的な世界を滅ぼすような事をしてはいけません。

それは、皆さん達を生みだした「全ての光の創造主」の意志でもあるのです。」

「新時代を司る創造主」は、私のいう事を半信半疑で聴いていたのですが、最後に「全ての光の創造主」の名前が出てきた事で、顔色を変えました。

「私は、あなた方がやっている事が成功する

とは到底思えません、あなたがそこまで言うなら、しばらく様子を見ましょう。

地球の時間で、7月ごろまでにアセンションを行ってください。

それができなければ、私のやり方で、地球のアセンションを行いますよ。」

私達は、この「新時代を司る創造主」の言葉に重苦しく沈黙しました。

「新時代を司る創造主」が去った後に、私達はこのメンバーを集めて会議を行いました。

最初の予定は、2016年の9月までに、地球と人々の大まかな分離を行い、やがて起こると予想されるスターピープルとのファースト・コンタクトによって、地球のアセンションに弾みをつける予定でした。

しかし、様々な創造主やダークピープル達による妨害によって、アセンションの予定がどんどん狂わされていきます。

そしてこれからも、妨害は今以上に行われるでしょう。

そうなると7月中にどれほど地球のアセンションが進められるか、予測できません。

しかし、定められた日時に間に合わないと、地球に隕石の嵐が降り注ぐ可能性もありますので、私達は、アセンションの方法をいくつか変更する事にしました。

本来地球のアセンションは、闇に対して光の割合が50%を超えた世界を「光の地球」と呼んでいます。

現在の地球は、光が43%～45%程度ですので、まだ闇が多く戦争や抑圧、殺人、宗教的、政治的対立が後を絶たない世界です。

しかし光が強くなると、そのような問題が少しずつ少なくなります。

50%を超えると、争いや対立を好む人よりも

平和や調和を好む人が増えますので、対立や争いは減り、皆さんが意識進化に向けて動き出します。

光が60%以上になると、争いはほとんどなくなり良心的な地球外生命体であるスターピープル達との共同作業が始まり、地球の現実世界に生きる人々であっても宇宙的な意識を共有する事ができるようになります。

光が70%以上の世界に行く人は、現在もうすでに宇宙的な意識を持っている人で、アセンション後はすぐにでも、スターピープル達と協力して、50%や60%の光りの世界にいる人達を導き、更なる進化をサポートしてあげる事ができます。

問題は光が40%台の世界にいる人達です。このレベルでは、まだ闇が多い世界ですので、人間としての感情やエゴ、物欲や支配欲などを持っており、それらを開放して、人間として成長するための学びを続けなければなりません。

この世界に行く人の大半は、未だ光の世界に行くのか学びの世界に行くのか決まっていない人も多く、スターピープルのいう事も自分の守護天使達のいう事も信用せずに、自分勝手に生きている人達が殆どです。

そのために、私は、40%台の人は置いといて、先に50%台の人、60%台の人を中心としてアセンションさせる方針を出しました。

「新時代を司る創造主」に対して、たとえ数が少なくても、光に満ちた人々がしっかりと物理世界でアセンションした世界を作っている事を見せなければ、地球のアセンションは失敗したと判断され、彼が強制的にアセンションを行うでしょう。



そしてもう一つ、天使達のサポートをもらう事にしました。

光50%の世界に行く人の多くは、未だスターピープルやダークピープルに対する理解も共感ありません。

たとえその人を導くためだとしても、スターピープルが突然現れたとしたら驚いてしまい、不安や恐怖の感情を持ち、その人をアセンションに導く事ができません。

そこで、地球では宗教的にもしっかりとした背景を持つ天使達に協力してもらい、スターピープルに先立って現れる事で、その人の警戒心を解き、スターピープル達の導きを容易にもらう事にしました。

この計画に天使達も喜んで協力してくれる事になりました。

天使達は、地球人の一人一人の人間に守護天使という形でついているのでたくさん存在していますが、スターピープル達は、地球に入れる人数が制限されており1000人程度が限度のようです。

その理由は、スターピープルはとても大きなエネルギーを持っているので、彼らが地球にたくさん入り込むと地球のエネルギーが不安定になり、大地震などの地殻変動が起きやすくなるためらしいです。

私は、地球のアセンション評議会に、地球のエネルギーの安定化を図り、一人でも多くのスターピープルが地球に入り、地球人の意識進化のために働けるように指示を出しましたが、やはり限界はあるようです。

しかし、アシュタールのメンバーは、50%、60%台の世界に行く人達はもう特定できているので、まずこの人達から始めれば、7月中には大きな成果は出せるといってくれます。

更に私達は、物理世界に近いところにいる創造主やマスターにお願いして、地球がすみやかにアセンションできるように最大限の努力を行うようにお願いしました。

### PART3 「新時代を司る創造主」のたくらみ

「新時代を司る創造主」と話をした日の夜から、私達の体に異常が起きてきました。

まずお腹や背中が張る感じで重だるさと痛みがあります。

そして翌朝にかけて寝ているにも関わらず、ドボルザークの「新世界交響曲」がずっと頭に響き続けているのです。

これは、私達の脳神経に対する直接的な精神攻撃を仕掛けてきたようです。

私達は、翌朝、自分達の体の異常を創造主達に調べてもらいました。

私達は、闇に落ちた創造主やダークピープル達から、さまざまなサイキックアタックを加えられたり、彼らのエネルギーとつながるコードなどをつけられて様々な被害を受けるので、そのようなコードやエネルギーを発見し処理するための施設やメンバー達を独自に持っています。

そうすると、私達と深い関係にある「愛と浄化の創造主」を使って、彼女から私達に大変危険なエネルギーが流されている事が分かりました。

そのエネルギーの裏には「愛と慈しみの創造主」と「新時代を司る創造主」のエネルギーが隠されており、私達の体内に、彼らのエネルギーを流し込む事で、私達の体と意識をコントロ

ールしようとしていた事が分かりました。

そして、ドボルザークの「新世界交響曲」の音楽によって脳神経を弱らせ、私達を「新時代を司る創造主」の意のままにしようとしていたようです。

私達は、「全ての光の創造主」に来てもらい、現状を話して、頭の中に鳴り響いていた音楽を止めてもらい、体の中に入り込んだエネルギーも抜き取って貰いました。

しかし、「新時代を司る創造主」が、私達の活動に対して妨害を行ってきた事は確かです。きっと昨夜行った約束もどこかで破ってしまう事でしょう。

私達は、もう一度「新時代を司る創造主」と話をしなければと考えましたが、その前に「新時代を司る創造主」を生みだした「時代を司る創造主」と話をする事にしました。

「時代を司る創造主」は、「全ての光の創造主」から生み出された3人の創造主の一人ですが、「すべての母性を司る創造主」と「すべての判断を見守る創造主」とはあまり仲が良くありません。

私達は「時代を司る創造主」に来てもらい、私達の体に「新時代を司る創造主」のエネルギーが送り込まれてきた事や私達の脳神経にまで介入してきた事などを話しましたが、「時代を司る創造主」はすぐには信じてくれません。「時代を司る創造主」は自分が生み出した「新時代を司る創造主」が行っている事を全面的に信頼しているようです。

地球のアセンションに対しても、私達が行うのではなく、従来通り「新時代を司る創造主」が行ったほうが良いとも言いはじめました。

私達は、地球のアセンションについて、何故こ

ここまで時間がかかっているのか、自己中心的な創造主やダークピープル達によって地球が深い闇に落とされた事や、その闇を払いのけながら、地球の物質的な世界のアセンションを行う意味などを「時代を司る創造主」に話していきました。

そして、私達の記憶を通して、地球の現状を「時代を司る創造主」に見てもらおう事にしたのです。

「時代を司る創造主」はしばらくの間、地球の現状やアセンションの進行状況、自己中心的な欲望で地球を支配しようとしてきた創造主達の様子を見ていました。

「時代を司る創造主」の顔が少しずつ厳しくなります。

「新時代を司る創造主」だけでなく自分がつくりだした「全ての秩序を作る創造主」や「すべてを神聖さに導く創造主」あるいは「すべての星の創造を司る創造主」などが、地球のみならず宇宙に対して大変な問題を引き起こしている事に気づいてきたようです。

「時代を司る創造主」は、私達に向かって、言いました。

「現在の地球や宇宙が、これほどまでに荒れ果てていたとは、私は気づきませんでした。

そして多くの創造主がエゴにまみれ、闇の世界に落ちていった事、皆さんが行っていたアセンションに対して大変な妨害を行っていた事に大変なショックを受けています。

確かに「全ての光の創造主」が言われていたアセンションに対して、私は懐疑的でした。

しかし、この状況をあえて改善するために、「全ての光の創造主」が、地球の人達に地球の物理世界のアセンションを委ねていた事を理解しました。

本当はあなた方の支援を行う立場の「新時代を司る創造主」さえもが、あなた方の妨害をしていたとは、光の創造主としてあるまじき行為であり、到底許す事ができない行いです。わが子が行った事とはいえ、本当に申し訳ない事をしました。」

「時代を司る創造主」は、自分自身が「新時代を司る創造主」を信じすぎていた事、そして「新時代を司る創造主」が支配欲にまみれ、地球をわがものにしようとしていた事にとっても大きな苦しみと怒りを感じているようでした。「時代を司る創造主」は更に続けます。

「今回皆さんに行われた攻撃は、「新時代を司る創造主」だけでなく「全ての闇の創造主」も関わっているに違いありません。

「新時代を司る創造主」は、彼のところによく相談に行っていたようですから、どうかその事も調べてあげてください。」

私達は、「時代を司る創造主」が、地球のアセンションに対して理解してくれた事をうれしく思い、勇気をもって「新時代を司る創造主」ともう一度話をする事にしました。

私達が「新時代を司る創造主」を呼び出すと、彼はとても傲慢な態度で現れます。

私は、昨夜から起こっていた異様なエネルギーや脳の中に響く音楽の事について「新時代を司る創造主」に問いただしましたが、彼は認めようとしません。

するとそこに、「新時代を司る創造主」の親である「時代を司る創造主」があらわれ、厳しい顔で「新時代を司る創造主」を戒め始めました。

たくさんのアセンションを成功させたおかげで有頂天になり、創造主としての尊厳や思いやりを失った息子に対して、「時代を司る創造

主」は、きびしく諭しています。

やがて、「新時代を司る創造主」も自分が行った事を認め始めました。

そして現実世界を見る事で、さらに立派な創造主になれるだろうという父親の言葉に従って、彼は、創造主としての資格を失い、地球の物理次元に降りる事にしたようです。

これで、私達の地球に隕石の雨が降り注ぎ、地球が壊滅する事はなくなったようです。

私達も、光の創造主や地球のアセンション評議会も一安心です。

地球のアセンションは急がなくてはいけませんが、少なくとも、地球の物理世界が消滅するアセンションはなくなったようです。

## 第4章 「全なる闇の創造主」

### のたくらみ

#### PART1 「全なる闇の創造主」との出会い

私達は思い切って、「時代を司る創造主」が言っていた「全ての闇の創造主」に会いに行く事にしました。

「全なる光の創造主」は、「全なる闇の創造主」に対抗するためには、すべての光の創造主が一つになって立ち向かわなければ、勝ち目がないと、私達に言ってきました。

それほど「全なる闇の創造主」は狡猾で危険な創造主であるということです。

光の創造主達は、私達が「全なる闇の創造主」を呼び出す事に大きな怖れを抱いていますが、それも当然の事かもしれません。

何しろ、闇の創造主達の親分のような創造主ですから。

私達は「全なる闇の創造主」のもとに向かい、彼と会う事にしました。

彼は、今までにあった事もないほど威厳があり、重苦しいエネルギーをまとっていました。

私は、丁寧にあいさつを交わすと、「全なる闇の創造主」に対して、私達が見てきた地球の闇の世界の話を始めました。

地球の闇の世界は、支配欲をもった創造主やダークピープル達にあふれ、あまりにも深い闇に蔽われてしまっている事、そして闇の世界の創造主さえも、他の宇宙から来たさらに凶悪な創造主達によって、自分達の世界を踏みにじられ困っている事、そして私達も闇の世界の創造主と協力して他の宇宙からやってき

た創造主達を退け、闇の世界が適正な闇の世界になるように努力してきた事を伝えました。

「全なる闇の創造主」は、私達の話を知ると、とても納得した様な顔で答えます。

「私も、地球が深い闇に蔽われてしまった事を聞いてとても心苦しく思っていました。

地球の創造主達からも、皆さんが地球の闇の創造主のために、一生懸命努力してきた事も聞いております。

本当にありがとうございました。

地球も、そしてこの宇宙ももっと適正な闇の世界になり発展していかねばならないと考えています。

今日皆さんにお会いできて、私は大変うれしく思います。

私はこれからも、闇の世界を立て直すために努力しようと思います。」

私は、「全なる闇の創造主」のために、私達の記憶ベースを基にして、彼に地球の現状を見せました。

「全なる闇の創造主」は、私達が実際見てきた記憶を通して地球の様々な闇の世界をつぶさに調べているようです。

「本当に地球はひどい事になっていますね。これでは、地球のアセンションはかなり難しい状況ではないのでしょうか。

即急に立て直さなくてははいけませんね。」

私達は「全なる闇の創造主」の言葉を聞いて、少し驚いています。

これが「全なる光の創造主」があれほど恐れた創造主なののでしょうか。

「偉大なる「全なる闇の創造主」よ、闇の世界を取り締まるあなたから、そのような言葉を聞く事ができて私達もうれしく思います。

どうか、私達の仲間で、地球の闇の世界を取り



締まっているマーベリックとアメリカに会ってください。

彼等は、私達のスピリットの一部でもあり、信頼に値する者達です。

どうか、彼らが地球の闇の世界をご案内しますので、彼らと共に地球の闇の世界を立て直してください。」

私は、地球の闇の世界を司るマーベリックとアメリカを呼び出し「全なる闇の創造主」に紹介しました。

私達は、闇の世界を司る創造主が、私達に闇の世界が適正になるように努力すると約束してくれた事をととてもうれしく思いました。

これで地球の闇の世界が改革されれば、闇から自由になって多くの人が光りの世界に向かう事ができると考えたからです。

「全なる闇の創造主」と別れた後、「全なる光の創造主」が私達のもとに来て、とても安心した様な顔つきをしています。

「TAKESHI さん達が、「全なる闇の創造主」に会うと聞いて私達はとても不安でしたが、「全なる闇の創造主」が皆さんに協力する事を聞いてとても安心しています。

やはり、皆さんは、地球の深い闇を経験してここまで昇ってきた人達ですから、「全なる闇の創造主」も皆さんの意見を聞こうと思ったのですね。」

私達の周りにいた他の創造主達も、この話し合いの成果をみて、私達の事をほめたたえています。

しかし、事態はとんでもない方向に動きました。

## PART2 「全なる闇の創造主」の残忍な作戦

私達が「全なる闇の創造主」との会談を行った翌日の明け方、私達は異様な夢で目を覚ましました。

それは、私達が薄明かりが灯されただけの暗い鉱山で働かされている夢でした。

周りには同じように、光をもった存在達がたくさん捕えられ、恐ろしい形相をした男達に鞭で打たれながら岩や土を運ばされているのです。

傷ついた体からは血が滲み、多くの仲間達が傷つき倒れていきます。

そしてその上では、闇をもった存在や闇の創造主達が、楽しげに威張り散らしています。

その世界を支配しているのが「全なる闇の創造主」と仲間達でした。

私達は目が覚めると異様なエネルギーに取り囲まれている事を感じます。

それは、物理世界においても、体の自由を奪われている事が分かるほどに、重苦しいエネルギーでした。

今までに受けたサイキックアタックとは異なり、自分達の体の内側から支配されているような、とても危険なエネルギーです。

もちろん、犯人は誰だか明白です。

私達に同意し友好的な関係を築くと見せておき、その裏で私達を支配するための策略を取ったのです。

昨日の「全なる闇の創造主」との会見で得られた満足や私達に対する賞賛は、跡形もなく吹き飛びました。

もちろん「全なる闇の創造主」に対する信頼も木端微塵となりました。

私達は、「全なる光の創造主」と創造主評議会、

光の創造主達、そしてマーベリックとアメリアを呼び出しました。

すると、私達の後頭部のところに、私達の意識を支配するためにマイクロチップのようなコードが入れてある事が見つかりました。

調べたところ、このチップが光の創造主全員につけられていたのです。

それを見て、私は大きなショックを受けました。

これは、私達の記憶を「全なる闇の創造主」に見せていた時に、私達からすべての創造主につながるゲートを利用して、「全なる闇の創造主」とその仲間達が、一瞬にしてすべての光の創造主達につけてしまったようです。

私は自分の愚かさを呪いました。

やはり「全なる光の創造主」が言うように、「全なる闇の創造主」は一筋縄ではいかない厄介な存在だったのです。

彼は、闇の世界を適正化するどころか、この深い闇に落ちた世界を自らが作っていたのです。

そして光の創造主達を次々とだまし、自分の仲間に取り込み、闇の世界も光の世界も、共に自分自身が支配しようと考えたいようです。

このチップをはずすためには「全なる闇の創造主」の力を無効にしなければなりません、が、「全なる光の創造主」では、それはできないようです。

私は、「全なる光の創造主」と「全なる闇の創造主」を生みだした創造主を呼び出し、解決をお願いする事にしました。

そこに現れたのは、「創造主を取り締まる光の守護の創造主」と呼ばれる創造主です。

「TAKESHIさん、見事にやられましたね。  
彼は、闇の創造主のリーダーとして、ずば抜けた能力とパワーをもっています。  
今の皆さんでは、まだまだ及ばないかもしれませんね。  
しかし、私達も彼を取り締まる時が来たようです。  
私達も全面的に応援しますので、彼ともう一度会ってみてください。  
光の創造主達を支配するためのチップを入れるのは、創造主としては絶対に許されない行為です。  
この行為だけでも、彼は罰せられるに値するだけの事をしましたね。」

「創造主を取り締まる光の守護の創造主」はそのように言って、「全なる闇の創造主」を取り締まるためのヒントをくれました。  
私はその言葉に勇気をもらって、再度「全なる闇の創造主」を呼び出します。  
もちろん多くの光りの創造主も、自分達にチップを入れられ支配されそうになっていると聞いて、私達の周りに集まり、私達にこの問題を解決するためのパワーを与えてくれています。  
そうか、「全なる光の創造主」が、光の創造主の力を一つにしないと勝てないといったのはこの事なんだと、私は気づきました。

「全なる闇の創造主」が、私の呼びかけに応じて現れますが、私達をばかにしたような笑いを浮かべています。

「「全なる闇の創造主」よ、あなたは、私達を支配するために、私や創造主にチップを入れましたね、」

「全なる闇の創造主」は、私をあざ笑うように見えています。

私は自分の後頭部についているチップをは

ずして、彼の前に差し出します。

「創造主として同じ創造主や同意の得られない存在に対して、支配を目的としてチップを入れる事は禁じられています。

あなたは、たとえ闇の創造主であったとしても、創造主である事に変わりはありません。であるならば、他の創造主にチップを入れた責任を取らなければなりません。」

私の周りでみていた光の創造主達が、「そうだ、責任をとれ」と「全なる闇の創造主」に詰め寄ります。

私の後ろから「創造主を取り締まる光の守護の創造主」がずっと立ちあがります。

それを見た「全なる闇の創造主」の顔色が変わります。

自分よりも下の創造主にはどれほど乱暴な事でも平気で行う創造主ですが、自分よりも立場が上の創造主には決して逆らう事はできないのです。

私の体の中に「創造主を取り締まる光の守護の創造主」とすべての光の創造主の思いとパワーが流れ込んできます。

光の創造主達は、今まで幾度となくこの「全なる闇の創造主」にだまされ傷つけられてきたのです。

今度こそ「全なる闇の創造主」から自由になりたいという願いも伝わってきます。

私は、さらに力強い言葉で「全なる闇の創造主」に言います。

「あなたは、今まで多くの創造主をだまし傷つけてきました。

それだけでも、あなたはもうすでに創造主としての資格を失っています。

そして昨日、地球の人間である私達の意識の

ゲートを使って、多くの創造主を支配するためのチップをつけて、彼らを冒涇しました。あなたは、創造主として働く資格も権限も失い、罰を受けなければなりません。」

その時、誰かが「全なる闇の創造主」が見つけたゲートを見つけ開きました。

するとそこには驚いた事に、私達を含め多くの創造主のスピリットの一部が捕えられていました。

私達が、昨夜見た夢は、まさしく「全なる闇の創造主」によって自分達のスピリットが捉えられていた時の様子を見ていたのです。

この光景を見た光の創造主達も驚いています。

そして「全なる闇の創造主」が行った凶悪な行いの証拠が明らかにされたのです。

それを見た「全なる闇の創造主」はガクツと膝をつき、あきらめた様子で言いました。

「わかりました、どうぞ私を光に返すなり、地上に送るなり、好きなようにしてください。」

光の創造主達からは、歓声が上がります。

私は、「創造主を取り締まる光の守護の創造主」を振り返り、どうしたらよいか判断を仰ぎます。

彼は、「お好きなように」というような表情で私を見ています。

私は「全なる闇の創造主」に対して、地上に降りるように指示を出しました。

「「全なる闇の創造主」よ、あなたは今まで、誰かに愛された事も、誰かを愛した事もないのではないですか。

どうか地上に降りてしっかりと人を愛する経験をしてきてください、そして人から愛され、あなたの中にある怒りや恐れを溶かし去って

ください。

あなたが、あなた自身を愛し、人を愛する事ができるようになったら、きっと今のあなたから大きく変わる事でしょう。

どうか地上で幸福な生活を送ってきてください。

どうか「全なる光の創造主」よ、彼に一欠片の光を与え、地上に降ろしてください。」

私が言った事に対して、多くの光の創造主が驚いています。

きっと私が、もっと過酷な世界へ彼を送ると思っていたのに、幸福な生活を送ってきてくださいといった事に納得ができないようです。

でも、光を持って生きる事のほうが、光を失うよりも辛い事もあるのだという事を、地上に生きる事で学ぶのです。

私は、「全なる光の創造主」にひとつお願いがありますといいました。

「お願いとは「全なる闇の創造主」が作り上げた闇の世界を作り直すために、闇の世界を変革する新たな創造主を生みだしてほしいのです。」

「もちろんそのような創造主が必要になりますね。

それで創造主はどのような名前にされますか、教えてください。」と「全なる光の創造主」は答えます。

私はしばらく考えて答えました。

「光と闇を調和させる創造主です。」

私達は翌日仕事が終わってから、再び「全なる光の創造主」と創造主評議会呼び出しました。

「全なる闇の創造主」がつけたコントロールチップも取り終わり、いつもの創造主達に戻っています。

私達には、コントロールチップだけでなく、私達の行動を制限するためのコードが、全身にはりめぐらされていたり、チャクラごとに闇のナソール人の標的となるためのコードが設置されていたりと、思った以上にさまざまな闇のコードが入れられていました。

しかし「全なる闇の創造主」が地上に降り、力を失う事でそれらのコードやチップは無効化され外す事ができるようになります。

創造主の世界は難しいしきたりがあって、ある創造主がつけたコードやチップは、その創造主が力を失うか、その創造主と同等以上の創造主でなければ、発見できないというルールがあります。

私達も、そのルールによって大変苦労させられました。

今回の「全なる闇の創造主」はその中でも別格とっていいほど、たくさんのコードを多くの創造主やマスター達につけていました。

おそらく、「全なる闇の創造主」から生み出された闇の創造主達も同じようにチップをつけられコントロールされているかもしれないと思い、闇の創造主の世界を訪ねる事にしました。

闇の世界を司る創造主達の系列は、前回「全なる闇の創造主」が退き、「光と闇を調和させる創造主」がその頂点に立っていますが、今まで「全なる闇の創造主」に従っていた創造主達が、素直に「光と闇を調和させる創造主」



に従うとは考えにくいものです。

私達が闇の創造主の世界に入っていくとやはり、創造主達が不平不満を言ったり暴れていたりします。

私は、彼らの前に立ち、これからの事について話を始めました。

「闇の創造主の世界を統治する創造主の皆さん。

今まで、闇の世界を統治していた「全なる闇の創造主」は、私達光の創造主に対しても大変横暴な行為を行っていました。

私達の後頭部に支配のためのコントロールチップをつけ、私達の大切なスピリットの一部を捕え、全ての世界を支配しようとしていたのです。

しかし、それは創造主としてあるまじき行為です。

彼はその罪によって地上へと追放されたのです。

彼がこの創造主の世界に戻ってくる事はないでしょう。

これからは、「光と闇を調和させる創造主」が皆さんのリーダーになって適切な闇の世界を創造する事になります。

どうか、皆さんの力を一つに合わせて素晴らしい世界を作ってください。」

皆さん、私の言葉に大ブーイングです。

口々に、「全なる闇の創造主」の素晴らしさを称え、私達に罵りの言葉を浴びせかけます。

予想はしていましたが、その凄さにあきれてしまいました。

私は「創造主を取り締まる光の守護の創造主」に来てもらい、この状況を解決するために、闇の創造主達を取り締まる創造主にも出てきてもらいました。

彼の名前は「闇の創造主を取り締まる光の守護の創造主」です。

創造主は、ようやくこの時が来たかと、喜びを隠しきれない様子です。

「TAKESHI さん、私達も、闇の創造主の世界が適正なものになるように、ずっと光を送っていたのですが、「全なる闇の創造主」に阻まれて、闇の世界を立て直す事ができませんでした。

皆さんのおかげで、「全なる闇の創造主」を地上に降ろす事ができ、これで新たな闇の世界を作り上げる事ができます。」

彼は嬉しそうに言いますが、この創造主に対しても大きなブーイングが起こります。

どうして自分達が光の創造主に従わなければいけないのだ、とか自分達が一番だ、などという言葉が飛び交います。

どうやら状況は思ったよりも悪いようです。

私は、闇の創造主に向かって、「これから私達と共に、闇の世界を作り変える事に同意してください。」「いただきますか、いたら私のもとに来てください。」といいました。

更なる罵声の中で、一人の創造主が立ち上がり私のもとに歩んできます。

この創造主は、昨日「全なる闇の創造主」によって閉じ込められた光の創造主達のスピリットの場所を教えてくれた創造主です。

私達は、この創造主のおかげで、「全なる闇の創造主」を追い込む事ができたのです。

「TAKESHI さん、私は「闇の創造主を取り締まる光の守護の創造主」のおかげで、「全なる闇の創造主」の暴挙からかろうじて守られていました。

私の中に埋め込まれたコントロールチップを守護の創造主から取り除いてもらい、私は冷静に「全なる闇の創造主」の行った事を見る事ができました。

しかし私も「全なる闇の創造主」に逆らう事ができず、他の創造主達のように従っておりました。

TAKESHIさん、どうか闇の創造主達につけられたコントロールチップを取り外し、彼らを自由にしてください。」

私も、やはりそういう事だろうと思っていました。

「闇の創造主達よ、皆さんが「全なる闇の創造主」にだまされていた証拠を見せましょう。

皆さん、横にいる創造主の後頭部のところを調べてください。

皆さんの理性を奪い、「全なる闇の創造主」に服従させるためのコントロールチップがあります。

これによって、闇の創造主の皆さんは、「全なる闇の創造主」の奴隷として働かされていたのです。」

私の言葉に驚いた闇の創造主達は、罵声を放つ事を止め、お互いの後頭部を覗き込むようにして調べています。

そして、それぞれの体からコントロールチップを探し出しました。

機械技術に詳しい闇の創造主や光の創造主が、コントロールチップをどんどん抜き去っていきます。

すると今まで罵声を放ち下品なふるまいをしていた創造主達が、自分や他の創造主の姿を見て驚いています。

「私達は今まで何をしていたんだろう、なぜこんな汚い服を着て泥にまみれているのだろう。」

自分が今までしていた事が思い出せない。」

闇の創造主達は、自分達が「全なる闇の創造主」にコントロールされて理性も思考力も判断力も失い、まるで悪魔のように、他の創造主や人々を弾圧し苦しめていた事に気づいたようです。

自分達が行ってきた事に大きな絶望感と嫌悪感を覚えて困り果てた顔をしています。

闇の創造主のなかで、唯一私達のもとに歩み出てきた創造主が、深い暗闇に隠された扉を開きます。

扉の中には闇の世界の創造主達のスピリットの一部が閉じ込められ、傷つけられ虐待され続けているのです。

「全なる闇の創造主」はこのようにして、創造主のスピリットの一部を捕える事によって、彼らを奴隷のようにこき使っていたのです。

#### PART4 闇の創造主達の目覚め

私は、狼狽している闇の創造主達を前に話し始めます。

「闇の世界の創造主達よ、皆さんは「全なる闇の創造主」によって騙されコントロールされていただけです。

皆さんは本来、素直で素晴らしい創造主である事を私達はよく知っています。

どうか自分の事を悪く思わずに、私達と共に新しい世界へと歩いていきましょう。

闇の世界とは、本来創造性にあふれた素晴らしいものです。

光の世界が闇の世界よりも優れているという事ありません。

光りの世界も闇の世界も、より良い創造の為

にお互いを必要としているのです。

私達の宇宙は、皆さんの力がなければ成り立ちません、どうか力を貸してください。」

私の言葉に闇の世界の創造主達も元気を取り戻したようです。

私の言葉に耳を傾け始めました。

「皆さんは、本来、光と闇が協力し合って素晴らしい宇宙の創造を行う為に存在しているのです。

光の創造主の中にも「全なる闇の創造主」にだまされて、深い闇の世界に落ちていった創造主もいました。

「全なる闇の創造主」によって作られた地球の闇の世界は、光の世界を覆い尽くさんばかりに広がり、光ある存在達を傷つけ苦しめています。

どうか皆さんの手で、創造性豊かで規律ある闇の世界を作って頂けるようお願いします。」

最初に私達のもとに歩んできた創造主も私の横に立ちます。

どうやら彼は、「全なる闇の創造主」に次ぐ 2番目の位置の創造主で、大きな信頼を得ている創造主のようです。

「闇の創造主の皆さん、私達は自由になったのです。

これからは、私達の責任と創造性をもって世界を新しく作る事ができるのです。

どうか力を合わせて新しい世界を作りましょう。」

闇の世界の創造主達が、一斉に手をたたき立ち上がります。

彼の声で、闇の創造主達はようやくまとまりを見せてきました。

彼は、私のほうを振り向き、私に手を差し出します。

これから、新たな闇の世界の創造が始まるのです。

私は、彼を中心として闇の世界の創造主評議会を結成するように伝えます。

もちろん光の創造主達の創造主評議会と力をあわせて、新たな世界を作るためです。

闇の創造主達の組織はこれからきちんと作られていく事でしょうが、まず中心となる創造主達が、「光と闇を調和させる創造主」と共に新たな組織を作っていく必要があります。

私達は、「光と闇を調和させる創造主」と新しく作られた闇の創造主評議会のメンバー達と共に、地球の視察に行きました。

地球の闇がどれほど深いものであるか、創造主だけでなく多くのダークピープル達や闇に落ちた存在達が、自分勝手に地球の人々を操り、どれほどすさまじい闇の世界を作っているか見てもらいたかったのです。

私達の地球が、現在「光の地球」と「学びのための地球」に分けられていますが、その理由は、地球の現実世界が深い闇をまもってしまったために、地球全体がアセンションする事ができなくなり、光を持つ人々を闇の世界から切り離すしか方法がなかった事を彼等にも知ってもらいたかったからです。

もし闇の創造主達が本気で、この地球の闇を適正化する事を行えば、地球の闇も少なくなり、光が多い世界となる事でしょう。

そうすれば、狡猾なダークピープル達に捕らわれ、闇の世界へと引きずり込まれ人々も少なくなる事でしょう。

光に目覚める人が増えれば増えるほど、アセ

ンションしていく地球の人々は増えるのです。現在、あまりにも多くの人達が、闇の存在やダークピープル達にとらわれてしまいましたので、闇の世界の創造主達が、地球の闇を変えてくれる事に、私達は大きな期待を持ちたいと思います。

地球の闇の世界にも、地球のアセンション評議会と同じような役目を持つ「闇の地球のアセンション評議会」を作る事にしました。

もちろん代表は、私達のスピリットの一部でもあるマーベリックとアメリアが司り、私達と協力しながら、地球のアセンションを進めていく事となるでしょう。

## PART5 異なる宇宙とつながるゲート

私達は「全なる闇の創造主」の計画を明らかにし、創造主の権限と能力を剥奪し地上におろしたので安心していたものの、すぐに大変な事が発覚したのです。

それは「全なる闇の創造主」が誰かによって復活させられたのです。

もちろん、一度創造主の地位を降されたものは、創造主としての権限や地位を失っていますので、正当な創造主としては認められませんが、力はそのまま持っていますので、自分のやりたい事をやる事ができるのです。

何故そのような事が起きるのかというと、宇宙はパラレルワールドを必ず持っており、私達の宇宙とは少しだけ条件が異なる事で、異なる世界が生まれてくる事があります。

その様な世界には、創造主や私達も同じように存在していますので、「全なる闇の創造主」がいまだ存在する宇宙もあります。

その様な場所から、次元をつなぐゲートを開き「全なる闇の創造主」を連れてくる事ができます。

そしてもう一つの復活のさせ方は、時をさかのぼって「全なる闇の創造主」を連れてくる事です。

私達がまだ「全なる闇の創造主」を処理していない時に戻り、その時代の「全なる闇の創造主」を今の時代に移し替える事もできます。おそらく、「全なる闇の創造主」が、私達によって自分の創造主としての地位と権限を無効にされたときに、私達に復讐するために、誰かに頼み、復活させたと思います。

この高次の創造主の世界になると、時と空間も自由に超える事ができますので、非常に厄介な問題が起こってくるのです。

しかし、これは宇宙のルール違反ですので、復活させられた闇の創造主は、すぐに光に返す事が認められています。

彼は、自分の子分だった創造主を取り込み、私達への復讐をしようと試みたようですが、闇の世界の創造主達は、「全なる闇の創造主」によってつけられた「コントロールチップ」をすでに外されていたために「全なる闇の創造主」が出てきても、すぐには従わずに、私達に報告してきました。

私達は光の創造主達と共に「全なる闇の創造主」を探し出しました。

逃げ場を失った「全なる闇の創造主」は、私達に捕えられ光に返されていきました。

しかし、いったい誰が「全なる闇の創造主」を復活させたのか疑問が残ります。

私達はその痕跡を調べていくと、異なる宇宙の創造主達のエネルギーを見つけました。



私達の宇宙と最も近い関係にあるのは「清らかさの創造主」の宇宙ですが、この宇宙とはゲートを閉ざし交流ができないようにしてあるのですが、そのゲートを飛び越してくる能力を持っている創造主か、もともとこちらの世界に残っていた創造主の仕組みかもしれません。

あるいは、私が全く知らない宇宙の創造主が行った事かもしれません。

私は、時折出てくる、異なる宇宙の創造主について教えてもらうために、現在の時点で最高次元にある「創造主を生みだす創造主」に来てもらい話をする事にしました。

創造主は、私達にこの宇宙の最高の秘密にされている事を教えてくれました。

「この宇宙は一つの世界だけで進化していくと、いつかは行き詰まりを感じるものです。

そのために、私達はある一定の時期とルールを決めて、お互いの創造主を派遣し合って交流を行わせたり、お互いの世界の創造主の光を融合して、新たな性格を持つ創造主を生みだす事も行います。

また、さほど高次の立場にない創造主達も、許可があれば異なる宇宙に入り、その宇宙のあり方や様々な考え方を学ぶ事ができます。

しかし、高次の立場にない創造主達は、あくまでも学ぶだけであって他の宇宙に永久を及ぼしてはいけない事になっているのです。

ところが、今回、このような立場の創造主達が、私達の宇宙の創造主と力をあわせて、私達の宇宙にさまざまな影響を及ぼしているようです。

それは、本来私達の意図した事ではありませんので、対処する必要があるようです。

その事について、他の宇宙の代表とも協議し

ますのでしばらくお待ちください。」

「創造主を生みだす創造主」のもとに、いくつかの宇宙の代表が現れたようです。

神々しい光りが、幾筋も降りてきて広がっています。

その光の中に、私達がよくお会いした「清らかさの創造主」がいます。

「清らかさの想像主」は、私達の前に来ると、「私達との世界のゲートが完全に閉じられてしまうかもしれません。

その前に、一度あなたを私達の世界へご招待しましょう。」といて、私達を自分達の宇宙へいざなってくれました。

そこはとても不思議な世界です。

私達の宇宙では、光の創造主達はピラミッド型の組織構造をもって、上にいる創造主が下にいる創造主を統治していますが、「清らかさの想像主」の宇宙では、一人の創造主が小さいながらも一つの世界を作っています。

その一つ一つの世界は、全く個性的で面白く、異なる価値観や創造の原理によって作られています。

その様な宇宙が、まるでカエルの卵のようにたくさんつながっています。

隣り合う宇宙は若干の干渉をお互いに行うようですが、あくまでも自立していて自由な様子が見てとれます。

そして、連なった卵を見守るような想像主達が幾人かいて、彼らが問題なく宇宙の創造が行えるように見守っています。

私達が、「清らかさの想像主」の宇宙から戻ると、創造主達の間で結論が出たようです。

「創造主を生みだす創造主」の周りにあった光もすべて消え去っています。

「TAKESHI さん、皆さんには大変ご迷惑をおかけしましたが、私達の宇宙は、当面の間、他の宇宙とは交流しない事を決定しました。

もちろんアセンションが完全に終了し、私達の光の創造主がしっかりと成長した後に、他の宇宙との交流を行う必要があれば、再度協議を行って、他の宇宙とのゲートを開く事もできますが、それまでは、他の宇宙とのゲートを閉じる事にします。」

そして「創造主を生みだす創造主」は多くの光の創造主を呼んで告げます。

「ただいまから、私達は他の宇宙とのゲートを閉じる事にします。

私達の宇宙に残っている創造主達に、ゲートが閉じられますから、元の宇宙に帰って頂くよう通告してください。

この通告に従わず、私達の宇宙に残る創造主は、きびしい取り締まりを受ける事になりますので、この通告を厳守するようにお願いしてください。」

「創造主を生みだす創造主」が戻ると、光の創造主が一斉に動き出しました。

この宇宙でも、しばらく他の宇宙との交流がなくなり、他の宇宙から来た創造主の影響も少なくなるようです。

## 第5章 制約の創造主と全ての世界のエネルギーを生みだす創造主

### PART1 「すべての世界のエネルギーを生みだす創造主」と「制約の創造主」

様々な創造主達が異なる考え方や立場で地球に関わる事により、本当に地球がぐちゃぐちゃな有様になっていた事が身に染みてわかってきました。

これほどひどい状態にある事を、高次の創造主も理解していなかったようです。

私達を通して、地球の現実世界を見て、それに関わる創造主の問題を洗い出す事で、創造主の処罰を行う事が増えてきました。

最近では、高次の光の創造主もはっきり言うようになってきました。

「光の創造主の中でも、問題がある創造主がたくさんいるのですが、私達は、その創造主が他の創造主や地球に対してどのような事を行っているか証拠を集めないと、私達も彼らを処罰する事ができないのです。

その為に、あなた方を地球に派遣して、創造主達を下のレベルから順次調べさせていました。」

確かにそうかもしれませんが…という気持ちです。

しかし地球のアセンションはすこしずつ進展しており、地球に生きている人々も、自分にあつた世界に、どんどん分離していつているようです。

私達が住む世界も、ますます光が増し、清らかな世界になっていきますし、私の会社も様々な問題が浮かび上がり、その事に対する解決が進んでいます。

また、他のスタッフに迷惑をかけている人や仕事に対して熱心ではない人が辞めていく事も多く、現実世界でも同じような進展があるようです。

ところが、GW が終わったある日、今までに味わった事もないほどの大きなサイキックアタックが起こりました。

会社での仕事が終わわり、インドカレーを食べて帰ってきた後から、お腹がちぎれるほど痛くなったのです。

その時食べたお肉が良くなかったからかもしれないのですが、普通の痛みではありませんでしたので、スピリチュアルなレベルで調べてみました。

すると、現実世界に生きている複数の人の感情を使って、私に対して大きな攻撃を仕掛けてきている存在がありました。

これはどのような事かというと、私達に憎しみや怒りをもっているスピリチュアルな存在は、現実世界でも私達に対して同じような感情を持っている人達と波長が合いやすいので、その人達のエネルギーと同調し、そこに闇のエネルギーを加える事で、現実世界の人達が持っている感情の力を強くして、私達に攻撃を仕掛けるのです。

私達は、スピリチュアルなエネルギーにも感応するタイプの人間なので、このような感情のエネルギーとスピリチュアルなエネルギーが加わったエネルギーにたいして強く反応します。

しかも、この物理世界の人間が関わる事で、

大天使や創造主達などのスピリチュアルな存在では、完全に止める事ができない領域のエネルギーになるので、それだけおおきなアタックとして起こってきます。

今回利用されている人達は、その多くが私のスピリチュアル仲間や会社のスタッフのエネルギーのようです。

彼等は、私を憎んでいるわけではないのですが、もっと私に面倒を見てもらいたいとか私に依存したい、私の気持ちを自分にむけたいという感情を持っているようです。

あるいは、私から厳しく諭された事が気に入らないという感情も交じっています。

そのために、私を求める気持ちが、スピリチュアルな闇の存在によって、私のエネルギーを奪っていくという行為にエスカレートさせられていくようです。

私は、そのエネルギーを自分自身からどんどん分離させていきます。

そしてどのような存在が、その事を仕組んでいるか、隠されたエネルギーの流れを見ていきます。

そうすると、とても高いレベルの創造主につながっているのが分かります。

今までは、「創造主を生みだす創造主」と「創造主の世界を創造する創造主」までは出ていましたが、彼らの力を超えた創造主のようです。

それは、もしかしたら「全なる闇の創造主」さえも超える闇の創造主が残っている可能性もあります。

私達はこの問題を解決するために、さらに高次の創造主を呼び出しました。

そこに現れたのは、大いなる光りの存在で、「すべての創造主を見守る創造主」というお

名前の創造主です。

その創造主が、私達を見つめ話し始めます。

「ついに皆さんの秘密を話す時が来たようです。

実は TAKESHI さんの本体は、「すべての世界のエネルギーを生みだす創造主」から作られています。

「すべての世界のエネルギーを生みだす創造主」は、この宇宙の創造にあたって、その源となるエネルギーを生みだす創造主で、その上にいる「始原の創造主」から生み出されています。

「すべての世界のエネルギーを生みだす創造主」から、この宇宙の創造が始まったといってもいいでしょう。」

私は、私の本体が、このようなレベルにある創造主であると聞いて驚いています。

しかし、私が出会ったすべての創造主が、私の言う事を素直に聞いてくれたという事は、きっとこの創造主の力が、私の中に宿っていたからなのでしょう。

「そして「すべての世界のエネルギーを生みだす創造主」は自分の仕事を手伝ってもらうために、「すべての世界のエネルギーを見守る創造主」を生みだしました。

それが今、あなたと共に活動している恵理さんの本体となる創造主です。

あなた方は本来、創造主やこの宇宙の創造を行う為のエネルギーを作り出すために共に活動していました。

そして今、自分が創造した世界を立て直すために、地上に降り立ち、一つ一つの世界を見て回り、問題を解決してきたのです。」

「そして私は、「すべての世界のエネルギーを

「生みだす創造主」と共に、「制約の創造主」という存在を生みだしました。

それはさまざまなレベルの創造主の働きが行き過ぎた時や創造主達が自分勝手な行動を行った時に、その動きを管理し制約するための創造主です。

しかし「制約の創造主」は、「すべての世界のエネルギーを生みだす創造主」が自分のパートナーとして、「すべての世界のエネルギーを見守る創造主」を生みだした事に大きな不満を持ってしまいました。」

「すべての創造主を見守る創造主」が大きいため息をつきます。

「本来ならば、「すべての世界のエネルギーを生みだす創造主」のパートナーは「すべての世界のエネルギーを見守る創造主」なのですが、「制約の創造主」が「すべての世界のエネルギーを生みだす創造主」と共に生みだされたために、自分自身がパートナーであると思いを違えて不満を持ってしまったのです。

「制約の創造主」はそれからというもの、2人の創造主に対してとても攻撃的になり、荒れ狂ってしまいました。

本来ならば、全ての創造主を束ねる役割の創造主が、自分を見失い多くの創造主を混乱に落とし込んでしまったのです。

しかも「制約の創造主」はとても大きな力をもっていますから、厄介なのです。」

## PART2 荒れ狂う「制約の創造主」

私は「制約の創造主」を呼び出して話をする事にしました。

「制約の創造主」を呼び出すと待ち構えてい



たかのようにやってきました。

私のお腹の痛みがいつそうひどくなり、意識も遠くなってきました。

私は、「制約の創造主」にいったい何を考えているのかと、問いたいただきました。

「制約の創造主」は、私を憎しみがこもった眼で見ながら話します。

「私こそが「すべての世界のエネルギーを生みだす創造主」のパートナーとして生み出されたのに、なぜ私を無視して、ほかの創造主と一緒に仕事をするのですか。

私がどのような思いで、あなたの事を見つめ、あなたの事を考えているのか、知らないのですか。

あなたは、私を裏切り、私をこんなに苦しめているのですよ。」

「制約の創造主」の言葉には、鬼気迫るものがあります。

その言葉を聞いた「すべての創造主を見守る創造主」が、「制約の創造主」をなだめるように話します。

「「制約の創造主」よ、あなたと「すべての世界のエネルギーを生みだす創造主」を、私は同じときに生みだしましたが、それは決してあなた方がパートナーであるという事ではないのです。

あなたと「すべての世界のエネルギーを生みだす創造主」は異なる目的のために造られました。

どうか、あなたの考え違いを改めてください。」

その言葉を聞いた「制約の創造主」は、さらに怒り始めました。

「「すべての創造主を見守る創造主」よ、そん

な事はありません。

私と「すべての世界のエネルギーを生み出す創造主」は、初めからペアとして創造を行う為に作られたのですから、私以外に彼と一緒に仕事ができる創造主はいないはずです。」

彼女の怒りが強まるたびに、現実世界で私に対して依存したいと考える人達の感情のエネルギーが強くなり、お腹の痛みがさらに強烈になります。

私は、痛みに耐えかねて「制約の創造主」に言います。

「制約の創造主」よ、あなたがもし、私のパートナーであるならば、あなたは私を傷つける事はしないはずだ。

今、あなたの感情によって、私の体は引き裂かれんばかりにいたいのです。

あなたは、私を殺すつもりですか、それがあなたの本当の想いですか、」

「制約の創造主」は、はっとしたような表情をします。

この機会を狙って、光の想像主が「制約の創造主」の周りを調べます。

すると「制約の創造主」につながっている大きなゲートを見つけました。

そのゲートは、異なる宇宙につながっているゲートです。

私達が、そのゲートを開いて奥を探すと、その奥に他の宇宙の創造主が隠れていました。

先日「すべてのゲートを管理する創造主」から、他の宇宙とのゲートはすべて閉じられたのだが、自分がいた世界に戻っていない創造主達が数名いるから気をつけるようにと言われていた事を思い出しました。

そして、そのような創造主に対しては、こちらの宇宙のルールに従って処理してもよいとい

う事に決まったそうです。

ここにいる創造主は、「制約の創造主」の感情を操って、私達の宇宙に混乱を起こそうとしていたようです。

私達は、その創造主を捕まえて光に返しました。

そしてもう一人の他の宇宙の創造主も見つかりました。

その創造主は、「制約の創造主」を通して、すでに私のハートの中にはいりこんでいました。とても薄気味の悪いその創造主は、どうやら昨日壊滅させた「紫ピラミッド」のグループに関わっている創造主のようです。

「紫ピラミッド」のグループは様々なヒーリングやスピリチュアルな方法によって人々をコントロールして、自己中心的な世界を一人一人の心の中に生み出します。

そしてエゴや支配欲、物欲に魅力を感じる人々を操ってこの世界を支配しようとするのです。

私達はすぐにこれらの創造主を捕まえ光に返します。

私は、「制約の創造主」に向かって言い放ちます。

「「制約の創造主」よ、あなたの感情は、これらの創造主によって増幅され、あなた本来の思考や判断力を失わせる事となりました。

あなたは、「すべての世界のエネルギーを生みだす創造主」を独り占めしたいという欲望から抜け出す事ができないでいます。

そして、他の宇宙の創造主と手を組んで自分の力を増し、光の創造主や地球の人々を支配しようとしてきました。

今のあなたは、他の宇宙の創造主によって支

配され、哀れな姿をさらしているだけです。  
あなたは、創造主としての品格もプライドも失った。  
どうかこれ以上、見苦しい様を見せるのはおやめください。」

私は、「すべての創造主を見守る創造主」にお願いして、「制約の創造主」を光の世界に帰してもらおうようにお願いしました。

「すべての創造主を見守る創造主」も、もうこれ以上は仕方がないといわんばかりの顔で、「制約の創造主」を光で包みます。

「制約の創造主」の荒れ狂う光は、やがて燃え盛る炎が消えていくように光の中に溶けていきました。

私のお腹の痛みも少しずつ和らいできたようですが、私の心は憂鬱です。

私と共に生みだされた「制約の創造主」が、「全なる闇の創造主」を初め、多くの創造主や闇の存在をつかって、私の仕事や私生活に至るまで影響を及ぼしていた事が分かったからです。

また私だけでなく、「すべての世界のエネルギーを見守る創造主」の分身として生まれてきた恵理さんに対しても、様々な抑圧を行い、彼女の人生をひどいものにしていただけのも、この「制約の創造主」の指示であったようです。

### PART3 論理の創造主と理想の創造主

翌朝、お腹の痛みはだいぶ軽くなったものの体が重くて動けない状態で目を覚ましました。

私達は、このラインの創造主達の事をもう少し調べてみる事にしました。

「制約の創造主」のエネルギーはだいぶ薄れてきたものの、彼女とは異なる創造主のエネルギーを感じるからです。

私を圧迫するような重たいエネルギーが、どこから来ているのか「すべての創造主を見守る創造主」に尋ねました。

「実は、あなた方の本体である「すべての世界のエネルギーを生み出す創造主」のラインには、まだ2人の創造主がいるのです。

その一人が、「論理の創造主」と呼ばれる創造主で、あなたの本体の創造主に対して、反発心を抱いているのです。

どうか話を聞いてあげてください。」

私の中で、創造主なのに、何考えているのだろう！という思いがよぎります。

私は、「論理の創造主」を呼び出します。

彼は、「すべての世界のエネルギーを生み出す創造主」の後に生み出された創造主で、弟のような立場にあたる創造主です。

彼も、何か不満げな顔をしてやってきます。

私が「論理の創造主」にどうしたのですかと声をかけると「論理の創造主」は怒ったように答えます。

「私は、自分の宇宙を創造しているのですが、いつも「すべての世界のエネルギーを見守る創造主」と比べられてしまい、自分のほうが劣っているのではないかと思われています。

私にはそれが許されないのです。

私達を作った創造主が、私にはない物を、あなたに与えたのではないかと思っています。」

私は、これは地球の人間達の兄弟で起こる兄弟げんかのレベルと同じではないかと思いました。

私にも実の弟がいますが、彼もよく同じ事を言います。

実際は、彼のほうが素晴らしい仕事をしていたとしても、その様に言うのです。

「偉大なる「論理の創造主」よ、私は決してそのようには思いません。

あなたは、あなたで素晴らしい宇宙を作っているのではないですか。

「すべての世界のエネルギーを生みだす創造主」が作ったこの世界は、大変な闇ばかりで、決して素晴らしい世界ではないですよ。

それに比べて、あなたの世界は整然としていて素晴らしい世界ではないのですか。」

「いいえ、私はだまされません。

きっと私達を生みだした創造主が、あなたとの間に何か大きな差をつけたに違いありません。

そうでなければ、私はもっと素晴らしい世界を作り出していたはずです。」

「そういえば、あなたには、パートナーとなる創造主はいないのですか。

「すべての世界のエネルギーを生みだす創造主」には「すべての世界のエネルギーを見守る創造主」がいて共に宇宙を創造しているようですが？」と私が訪ねると、「すべての創造主を見守る創造主」はむっとした様な顔をします。

そこに「すべての創造主を見守る創造主」が言葉をはさみます。

「「論理の創造主」には、もともと「理想の創造主」というパートナーが存在しています。

私は、彼らが2人でともに協力し合って宇宙を創造するように2人を作ったのですが、どうもうまくいっていないようです。」

私は、なるほどと思い、「理想の創造主」がどのように考えているか、話を聞くために「理想の創造主」を呼び出しました。

「理想の創造主」は心配そうな顔をしながら私達の前に現れ、礼儀正しく挨拶をします。

「初めまして、皆様の事は多くの創造主達からも聞いております。

「すべての世界のエネルギーを生み出す創造主」は、私にとってもお兄さんのような方ですので、あなた方にお会いできる事を心からお待ちしておりました。」

「理想の創造主」は、落ち着いた声で語りかけてきました。

私は「論理の創造主」との事を「理想の創造主」に聴いてみました。

「はい、私は「すべての創造主を見守る創造主」様から、「論理の創造主」様と共に創造を行うようにと生みだされた創造主ですので、「論理の創造主」様に従い、創造のお手伝いを行うものだと考えております。

しかし、「論理の創造主」様はご意志が強く、私が何か言ってもお聞き入れにならず、私を邪魔者のように扱われるので、ご迷惑をおかけしたくないと考え、離れて見守っておりました。」

私は「論理の創造主」に向かって言いました。

「つまり、あなたは自分の意思を強くもちすぎたために「理想の創造主」を困らせてしまったようですね。

パートナーに対する愛情や思いやりがなくては、素晴らしい宇宙の創造はできませんよ。

あなたに欠けていたのは、この事だったのですね。

もう一度、自分のエゴを抑えて「理想の創造主」と共に宇宙の創造を行ったらどうですか、

素晴らしい宇宙ができますよ。」

その話を聞いて「理想の創造主」は嬉しそうににっこりとほほ笑みました。

「論理の創造主」は、駄々をこねる子供のようにすねた顔をしています。

「それでは、「理想の創造主」よ、「論理の創造主」があなたと一緒に仕事をしたくないと思っているようですから、私と一緒に仕事をしませんか、私の宇宙は今、大変忙しいのです。

あなたのようなすばらしい創造主が来てくれると私達も助かります。」

私の言葉を聴いて「論理の創造主」があわてて「それはだめです。」と答えます。

「「理想の創造主」は、私のパートナーですから、私と仕事をする事になっているのです。

「理想の創造主」まで、私から取り上げないでください。」

私は、あわてて本音を吐いてしまった「論理の創造主」に、にこやかに笑いながら言います。

「もちろん「理想の創造主」は、あなたのパートナーですから、私がとったりはしませんよ。

2人でしっかりと宇宙の創造を行ってください。」

「論理の創造主」は、まるで子供のようにはにかみながら、「理想の創造主」に言っています。

「あなたは、私の事を嫌っているのではないですか、

私の事を嫌って私から離れていったのではないですか？」

「理想の創造主」は、優しい表情を浮かべて答えます。

「いいえ、私の使命は「論理の創造主」様と共に、素晴らしい宇宙を創造する事です。

あなたが、私に手伝ってくれとおっしゃれば、



いつでもお手伝いします。」

「論理の創造主」の目から涙が零れ落ちていきます。

論理と理想の統合、これこそが「すべての創造主を見守る創造主」が夢見た宇宙かもしれません。

そしてこの事は、きっと私達の宇宙にも素晴らしい光りをもたらしてくれる事でしょう。

私達は、この2人の創造主を見守りながらその場を立ち去る事にしました。

たまには、このようなハッピーエンドもいいものですね。

「すべての創造主を見守る創造主」もほっとした顔で見守っています。

まるで息子を見守る親父の顔です。

## 第6章「宇宙のひな型 を作る創造主」の反乱

### PART1 「宇宙のひな型を作る創造主」の過ち

「制約の創造主」と「論理の創造主」の問題を片付けた翌日の事、明け方から女神の攻撃的なエネルギーを感じます。

調べてみると瀬織津姫である事がわかりましたが、不思議です。

瀬尾律姫は、本来地球にたまった不要な闇のエネルギーを光に帰す女神ですので、このような攻撃的なエネルギーを持つはずがないのですが。

調べてみるとやはり本物の瀬織津姫ではなく、その裏には、最近よく出てくるシルクハットのマジシャンの姿をした「光を奪う存在」が隠れていました。

今日こそは、この闇のマジシャンを、誰が操っているのか調べるために、彼のコードを探っていきます。

すると、驚いた事に光の世界の創造主評議会のメンバーである「空間を生みだす創造主」と「位置を定める創造主」の並びにいる「宇宙のひな型を作る創造主」に行きつきました。

この「宇宙のひな型を作る創造主」はとても特殊な創造主です。

こちら側の光の創造主の誰かと異なる宇宙の創造主によって作られた創造主で、こちら側の創造主では持ちえない特別な能力をもっています。

そのために、光の創造主の系列の中でも、特別な地位を与えられているのです。

その能力とは、光の創造主がこのような世界や創造主を作りたいと考えたとき、「宇宙のひな型を作る創造主」にお願いして、その宇宙や創造主がどのようになるかシミュレーションしてもらう事ができるのです。

「宇宙のひな型を作る創造主」はまるで、本物の宇宙を映像で見るかのごとく、新たな宇宙の始まりや経過を見せてくれます。

その能力は、直観的なものですがコンピュータの計算よりも正確で詳しい情報が得られるようです。

その特別な能力が故に、「宇宙のひな型を作る創造主」は、「空間を生みだす創造主」などと同じ位置につき、大きな力を持っていました。

そして創造主の中では珍しく、他の宇宙とのゲートを開く事ができる創造主でもあります。しかしそのために、その能力を利用しようと思う創造主もたくさんいるようです。

私は「宇宙のひな型を作る創造主」を呼び出しました。

私は「宇宙のひな型を作る創造主」に向かって、闇のマジシャンや瀬織津姫を使って私達を攻撃してきた理由を尋ねました。

「宇宙のひな型を作る創造主」は、「制約の創造主」から命令されてこの事を行ったと答えます。

どうやら「制約の創造主」は、様々な創造主を使って、私達を攻撃するためのプログラムを組んでいたようです。

私は、「宇宙のひな型を作る創造主」の体にも、「制約の創造主」が作ったコントロールチップが埋め込まれているのではないかと思い、創

造主達に探してもらいました。

するとやはり、後頭部やハートにコントロールチップが埋め込まれていました。

私達が、コントロールチップを取り去ると「宇宙のひな型を作る創造主」は我に返ったようです。

そのチップを見て、自分がしていた事を知らされて大慌てしています。

「宇宙のひな型を作る創造主」は、私達に向かって謝罪するように言います。

「私は一体、なんて事をしてしまったのでしょうか。

本当に大変な事をしてしまいました、申し訳ありません。」

「宇宙のひな型を作る創造主」は、「制約の創造主」にだまされて、闇のマジシャンなどを作り出し、女神達の姿に化けさせて、私達を攻撃したようです。

私は、「宇宙のひな型を作る創造主」に言いました。

「あなたは、創造主の中でもとても大切な仕事をしている創造主です。

しかし、「制約の創造主」から騙されてこのような事をしていた事は、大変な問題です。

これからどうしますか、この過ちを繰り返さないように努力しますか。」

「宇宙のひな型を作る創造主」は私達に深く誤りながら言います。

「もちろんです。私とした事が、皆さんに大変ご迷惑をかけてしまいました。

皆さんに、これから従いますので許してください。」

私達は「空間を生み出す創造主」や「空間を定める創造主」達と相談して、彼女のエネルギー

ギーをクリアリングする事で、今回の過ちを赦し、「宇宙のひな型を作る創造主」としての仕事を行うように言いました。

「宇宙のひな型を作る創造主」も「空間を生みだす創造主」も喜んでいきます。

## PART2 「宇宙のひな型を作る創造主」の反乱

「制約の創造主」や「宇宙のひな型を作る創造主」の問題が解決して、これで光の創造主達も安心と思っていたら、また問題が発生しました。

それは、「完全なる美の創造主」のエネルギーがおかしくなり、地球上に「美を求めるための欲望を高める」エネルギーを流している事が報告されました。

それは、とても大きな闇のエネルギーを含んだエネルギーで、地球の女神達もおかしくなっているとの事です。

私達はすぐに、「完全なる美の創造主」のもとに駆けつけました。

「完全なる美の創造主」は、半分意識がないような状態で、邪悪なエネルギーに取り付かれたかのように、変なエネルギーを流しています。

私達は「完全なる美の創造主」を調べると、体に3か所、コントロールチップが埋め込まれています。

すぐにチップを外すと、「完全なる美の創造主」は正気に返ったようですが、自分がコントロールチップによって、変なエネルギーを地球に流していた事にショックを受け泣き顔になっています。

私はすぐに、創造主評議会と高次の創造主を呼び出しました。

そしてすぐに、全ての光の創造主、闇の創造主達にコントロールチップがつけられていないかを、相互に調べるように、創造主全員に通告してもらいました。

またそれと同時に、それぞれの創造主の世界に、不要な存在が入り込んでいないか、異変がないか調べるように指示しました。

私は「創造主を守護する創造主」と「闇の創造主を守護する創造主」に誰がこのチップを入れたか調べるように命じました。

しばらくすると創造主達から報告が上がってきました。

コントロールチップに関しては、美の創造主、愛の創造主の系列や輝きの創造主よりも下の物理次元に近い創造主達につけられていた事が判明しました。

しかも、驚いた事に「位置を定める創造主」にもつけられている事が分かりました。

そしてさらに大変な事に、コントロールチップをつけられた創造主の偽物が存在している事もわかりました。

さらに、光に帰したはずの「殺戮の創造主」「束縛の創造主」「光を食らう創造主」そして「情念の女神」までもが復活させられていたのです。

多くの創造主達の表情が一気に硬くなりました。

これは一歩間違えば、創造主の多くが偽物に変わってしまう危険性もあったのです。

私は、「創造主を守護する創造主」に、誰がこのような事をしたのか聞きました。

「創造主を守護する創造主」は、落ち着かない声で答えます。

「このような事が瞬時にできるのは、おそらく「宇宙のひな型を作る創造主」一人でしょう。あの創造主は、宇宙も創造主も簡単にコピーして作る事ができますので、あらかじめ創造主達のエネルギーパターンを取得しておいて、いざという時は、そのデータを基に同じ創造主を作り出す事ができます。

そうすれば、短時間のうちに、光の創造主と同じ創造主の世界を作り上げる事も可能でしょう。

そしてそこにコントロールチップをつける事で、全てを自分の意のままに操る事ができます。もしかしたら、そこに、他の宇宙の創造主も関わっているかもしれません。」

私達は多くの創造主達で守りを固めた場所に「宇宙のひな型を作る創造主」を呼び出しました。

「宇宙のひな型を作る創造主」は昨日と変わって、荒々しく攻撃的な態度で現れました。そして、私達に向かって邪悪なエネルギーをどんどん送ってきます。

「すべての世界のエネルギーを生み出す創造主」と「すべての世界のエネルギーを見守る創造主」が私達の盾となってその攻撃を防いでくれます。

「創造主を守護する創造主」や「闇の創造主を守護する創造主」達を中心として多くの創造主が「宇宙のひな型を作る創造主」を抑え込もうとします。

「宇宙のひな型を作る創造主」の周りには、彼女がつくりだした創造主達も現れ、光の創造主達を払いのけ、「宇宙のひな型を作る創造主」を守ろうとします。

しばらくの間、創造主達の光が飛び交い、まるで戦場さながらの光景です。

幾人もの創造主達が傷ついています。

その様子を見かねたのか、「すべての創造主を見守る創造主」が現れ、神々しい光で「宇宙のひな型を作る創造主」達の邪悪な光を一掃します。

「宇宙のひな型を作る創造主」が作り出した偽りの創造主達の姿が次々と「すべての創造主を見守る創造主」の光に飲み込まれ消えていきます。

「宇宙のひな型を作る創造主」も力尽きたのか、その場にしゃがみこみます。

私は、「宇宙のひな型を作る創造主」に、なぜこのような事をしたのか、尋ねます。

「私は、ほかの宇宙とこの宇宙の創造主の間に生まれた子ですから、私の居場所は、本当はどこにもないのです。

私は、いつもシミュレーションばかりで、本当の創造に関わる事はできませんでした。

私だって、本物の宇宙を創造したいのです。

「制約の創造主」はそのような私を見て、自分と手を組めば、私にも本当の世界を創造する権利を与えるといってくださいました。

私は、その言葉がうれしくて、「制約の創造主」に従ったのです。」

私は、「宇宙のひな型を作る創造主」に言いました。

「しかし、「制約の創造主」はもういない、今回の計画は「制約の創造主」が計画したものですか。」

「宇宙のひな型を作る創造主」は、私を睨むようにして言いました。

「「制約の創造主」は、「すべての世界のエネルギーを生みだす創造主」を見返してやりたかったのです。

自分を冷たく扱ったあなたが憎かったので



す。

私には、その気持ちがよくわかります。だって同じ立場ですからね。

私は、「制約の創造主」がいなくなっても、「制約の創造主」の気持ちをついでこの計画を実行し、この宇宙を自分達の手で支配しようと考えていました。」

「あなたは、この計画が成功したら、「制約の創造主」をもう一度生まれ変わらせて、一緒にこの宇宙を統治しようと思っていたのですか。」

私の問いに「宇宙のひな型を作る創造主」は、あざ笑うように答えました。

「いいえ、もう「制約の創造主」を生まれ変わらせる事なんてしません。

私が、全ての創造主の上に立てばよいだけですから。

「制約の創造主」はもうすでに狂っていらしたので使いものになりません。

この世界の創造主はすべて心が弱く、自分勝手に、能力不足です。

私が来た世界の創造主が本気をだせば、この世界はすぐに征服されてしまうでしょう。」

「宇宙のひな型を作る創造主」はそう言い放つと大きく笑い始めました。

私は、「すべての創造主を見守る創造主」にお願いして、「宇宙のひな型を作る創造主」を光に返してもらおう事にしましたが、創造主は誰一人として喜ぶものはいません。

彼女の言葉に、全ての創造主が言い知れぬ恐怖で凍り付いているのです。

彼女が言った事が現実にかかる可能性も十分考えられるからです。

「すべての創造主を見守る創造主」を初めと

して、私の本体である「すべての世界のエネルギーを生み出す創造主」、恵理さんの本体である「すべての世界のエネルギーを見守る創造主」そして多くの創造主達は、自分達の宇宙の創造主の立て直しに成功しました。

しかし、「宇宙のひな型を作る創造主」が言うように、仲間内で争ってばかりいた光の創造主には、他の宇宙から強力な創造主が攻め込んできたときに、彼らに対抗して、自分達の宇宙を守る事ができないかもしれません。私達の新たな課題が、今始まったのです。

### PART3 「物理世界の創造主達を守護する創造主」と地球の女神達

私達は「宇宙のひな型を作る創造主」との戦いが終わった後に、自分達の組織を少しでも強くするための試みを始めました。

ひとつには、今回のように創造主達が、自分本来の役目を忘れ、馬鹿げた事を行い始めるきっかけは、誰かによってコントロールチップを入れられ、支配を受け始めるからです。

そのために、特定の創造主が常に、コントロールチップがいれられていないか、定期的に調べる事にしました。

創造主は自分が存在する次元の近くの次元しか関与できない事になっていますが、この調査団のみ、その制約を取り、次元を自由に移動できるようにしました。

この調査団の団長は、「創造主を守護する創造主」と「闇の創造主を守護する創造主」です。

彼等は創造主を取り締まる権利も持っていますので、この役目には最適な創造主です。

彼らをサポートする創造主が、「審判の創造主」「全なる陰陽の創造主」と「光と闇の統合の創造主」というように、闇の力に強い創造主達がグループを作り、次元を超えて創造主達に異変が起きていないか調べる事にしました。闇の世界の創造主も、こちらのシステムにならって同じような調査団を作る事になりました。

そして問題なのは、エンソフが治める物理的な宇宙や地球です。

今回も、瀬織津姫の偽物が現れた事がきっかけでしたから、この地球や天の川銀河にいる物理世界の創造主や女神達、マスター達の事もきちんと調べて守らなくてははいけません。

私は、「創造主を守護する創造主」「闇の創造主を守護する創造主」「審判の創造主」そして大天使ミカエルと黄泉の世界にも精通している大天使アズラエルの力を合わせて、「物理世界の創造主達を守護する創造主」を生み出す事にしました。

この提案にエンソフは大喜びです。

現在の宇宙には、宇宙警備隊や天の川銀河連合の騎士団、アシュタールなどがいて、それぞれの立場で宇宙の治安を守る仕事をしていますが、彼らを取り締まるのは、問題を起こしたダークピープル達や「闇の存在」が中心ですから、創造主や神々を取り締まる事はできません。

しかし、今、大きな問題を起こしているのは、創造主や神々、そしてその偽物達なのです。彼等を守護したり取り締まったりするのは、宇宙警備隊や天の川銀河連合の騎士団、アシュタール達の仕事ではないので、野放し状態に

なっていました。

本当のところ、エンソフと仲間の創造主達だけでは、到底太刀打ちできない所でしたので、「物理世界の創造主達を守護する創造主」を作ってもらい、創造主達の守護をしてもらえれば、彼等は大きな味方を得る事になります。

エンソフとも相談して「物理世界の創造主達を守護する創造主」を約 200 名作り出し、地球の神々や女神を調べてもらう事にしました。

そして、太陽系や天の川全域に、数を増やしながら調査を展開していく予定にしています。

さっそく「物理世界の創造主達を守護する創造主」に地球を調べてもらう事をお願いしました。

数時間後、エンソフから緊急の連絡がありました。

「TAKESHI さん、大変な事が分かりました。地球の多くの女神達が捕えられていました。そして本物の女神の代わりに、「宇宙のひな型を作る創造主」がつくった偽りの女神達が、この地球に君臨していたのです。

闇のマジシャンや「光りを食らう創造主」達が、女神達を捕えたのだと思います。

未だ数日しかたっていないようですが、すでに偽物の女神達が、人々をだまし、そのエネルギーを奪ったり、光に向かう人々のスピリットを捕えたりしているようです。」

私は、あわてて、ミカエル騎士団や宇宙警備隊、地球警備隊をよびよせ女神達の救助に向かわせました。

「物理世界の創造主達を守護する創造主」達も、大活躍してくれてすぐに女神達を救出し、偽りの女神達を処理する事ができました。

しかし、「宇宙のひな型を作る創造主」の素早い行動に、正直驚かされました。

この計画に気づくのが数日遅ければ、光の創造主達も物理世界の創造主や神々も、全て「宇宙のひな型を作る創造主」の偽物に入れ替えられてしまっていたかもしれません。

そしてアセンションした地球そのものも彼女達の手にならっていた事でしょう。

彼女達は、その事を行う為に、今の時期を見計らって動いたのかもしれません。

彼女が言った事が、本当の恐怖をもって、私達の心によみがえってきました。

## 第7章 地球のアセンション

### 計画の予定

#### PART1 地球のアセンションを導く者達

私達は、光の創造主のラインの立て直しを行った事で、地球のアセンションをどんどん進めていく事ができるようになりました。

今も、物理的な地球の分離が急速に行われています。

今回は、地球のアセンションを押し進めている存在達とアセンションの目的などについてお話ししましょう。

地球のアセンションを進めているのは、サナートクマラやサナンダ、天照大御神などの地球のアセンデッドマスターと地球の神々で組織された「地球のアセンション評議会」です。

そして「地球のアセンション評議会」を守護し違法なダークピープル達を取り締まるのが「地球警備隊」で、その上部組織である「宇宙警備隊」の指導を受けて活躍しています。

「地球警備隊」には大天使ミカエルと漆黒のドラゴン騎士団がサポートをしてくれているようです。

地球のアセンションを指導しているのは、天の川銀河の中でもいち早くアセンションをおこなった星々の存在である「スターピープル」達と宇宙の平和と進化のために貢献しているアシユータルや銀河連合のメンバーです。

「スターピープル」達は、主にアンドロメダ座の星の人々、シリウス星やアルクツールス、ベガ、プレアデイス星団の人達のように、地球を良心的にサポートしてくれている人々の事です。

彼等は、進化した地球人が自分達と同じように、天の川銀河の平和と進化のために、共に手を組んで活動できる事を夢見て、私達を献身的にサポートしています。

地球のアセンションを計画し実現に向けて力を注いでいるのは光の創造主のグループです。

光の創造主も、最高次元の「すべての創造主を見守る創造主」から物理世界に近いところにいる創造主まで、多くの光の創造主達が地球および天の川銀河のアセンションを見守り、その実現に一生懸命に取り組んでいます。

彼等にとって物理世界を持つ地球のアセンションは、今まで経験がない事なので、新たな宇宙の方向性を定めていく大切なイベントなのです。

また反対に地球のアセンションを邪魔している存在もいます。

それは、この地球を自分達で支配したい、地球の人々をコントロールしてその光を奪いたいと考えている存在達です。

もっとも問題となっていたのは、支配欲に満ちた創造主や闇の世界の創造主達、そして私達の宇宙とは異なる宇宙から来た創造主達でした。

彼等は、今後、太陽の創造主、月の創造主によって運営される「光の地球」を自分の物にするために、アセンションを邪魔したり、アセンションした世界を奪い取ろうとしました。

しかし、そのような創造主は、光の創造主と私達の手によって処理されだいぶ少なくなりました。

このような支配欲の強い創造主達により、地球のアセンションを妨害するために作りだされたのが、ディセンションした星々のダークピ

ープル達です。

その最大の物は、「闇のアシュタール」「紫ピラミッドのグループ」「闇のナソール」達ですが、ほかにもさまざまな星から、地球のアセンションを阻み、光ある存在達の光を奪うために多くのダークピープル達が地球に押し寄せてきています。

ダークピープルは、地球人よりもはるかに高い知性と能力を持っていますので、地球人を簡単にだまして自分の言いなりにしてしまいます。

たとえば政治、経済、宗教に関わる特殊な能力や知識を人々に与え、経済的な成功を得て他人を支配する事を可能にしてくれます。

彼等に関わると、一時的に成功して名声や富を得たり、他者から崇拜されたりしますが、やがて彼らによって利用されるだけの存在となってしまいます。

彼等も光の地球からは排除しますが、物理世界で人々に深くかかわっている存在は排除できませんので、その人と共に、学びの世界(ディセンションした世界)に行く事になります。

また私達が、処理に困った存在は、闇の創造主達から作り出された「闇の存在」達や反物質的なダークピープル達です。

彼等は、実体がなくエネルギー体だけなのですが、人々の意識に入り込み、人々をコントロールして様々な問題を起こしたり、人々が光の世界にアセンションしていく事を妨げます。彼等は、ただ光を奪う事や多くの人達を闇の世界に引きずり込む事が目的の存在です。

彼等は特殊な形態をそれぞれ持っています。「ナソールチルドレン」「ブラックホノグラム」「黄泉の世界の存在」や「闇のマジシャン」な



ど様々なタイプの存在がいますが、学びが多い地球では、彼らの存在も学びのために必要なので、私達は彼らを残しておかなければなりません。

彼らと深くつながっている人も、まだ学びが必要なので、彼らと共に学びの世界に行く事になります。

## PART2 アセンションの計画

私達は、どのような存在と共に活動するかという事を自分自身で決めなくてはなりません。

それは自分がどのような世界に向かって歩いていくかを決めるという事です。

現在多くの人のスピリットが、自分がすでに行く道を決めているようですが、いまだ決まっていない人もいます。

その多くの人々が、光50%のボーダーラインに立っているのです。

光り50%のボーダーラインより下は、今の地球と同じ学びの世界です。

50%よりも上の世界に入っていくと、自分に残された学びを行いながら、さらに光が強い世界へと入っていく事でしょう。

地球のアセンションが進むと、まず光が強い世界に行く人達が、現在の地球から分離され、光の世界へと入っていく事になります。

光50%から60%の世界と今までの闇の多い地球の分離が、5月の中旬に行われていますので、この世界に行く人達の移動がこれから行われ、6月の後半から7月にかけて完了していくと思います。

この世界に行く人は、現在でもしっかりと「愛」

や「奉仕」の意識に目覚め、この地球を少しでも良くしたいと日々努力しています。

そしてこの世界に行く人は「スターピープル」と会うための準備もできてきているので、やがて彼等との物理世界での「ファースト・コンタクト」を実現させる事となるでしょう。

その時は、私達の新たな仕事の始まりともいえるでしょう。

なぜなら、彼らと地球人との間を取り持つのが、私達の仕事だからです。

またさらにその世界から、光50%台の世界と60%台の世界が分けられてくるでしょう。

光が60%台の世界の人々はほとんど学びが終わっていますので、スターピープル達と協力し合って、地球のアセンションを完全なものにするための仕事をしたり、スターピープル達から、彼らと共に活動する為の学びを行い始めます。

それは地球が、他の叡智ある星々と共に活動できるような立場に立つ事でもあります。

きっと「スタートレック」のドラマのように宇宙船を使って宇宙を移動して、宇宙の問題を解決するような世界がくるのではないのでしょうか。

光が70%以上の世界になるとほぼ物理的な地球ではなくスピリチュアルな要素が大きくなります。

この世界に行く人々はすでに肉体を失って、もっと自由な立場で、宇宙のリーダーとして活躍していくようです。

そして問題なのは、「光の地球」のボーダーラインともいえる50%前後の世界です。

こちらは、50%よりも上の「光の地球」に行く

のか、50%以下の「学びの世界」に行くのかが決定していない人達が多いようですので、これから、自分自身のスピリットに従って分かれていく事となるのでしょうか。

このラインが完全に分かれる為には、もう少しばかり時間がかかりそうです。

しかし、「光の地球」に行きたくない、行く見込みがない人達の分離もどんどん進んでいますので、光の割合が40%前半から下の世界の人達も、これからどんどん移動を始めていくと思われれます。

2016年5月16日      瀬戸武志

○物理世界に関わる創造主の階層  
 (下に行くほど低くなる)

	光の創造主 <b>闇に落ちた創造主</b>
第1評議会のリーダー	光彩の創造主
多次元宇宙の創造主評議会	全ての宇宙を作り出す創造主 真眼の創造主 記録の創造主 愛の創造主 予測の創造主 <b>均衡の創造主</b> <b>根元の闇の創造主達</b>
	全ての宇宙に働きかける創造主 <b>全ての闇の宇宙に働きかける創造主</b>
	全ての創造主を見守る創造主 <b>全ての闇の創造主を見守る創造主</b>
	始原の創造主 すべてのゲートを管理する創造主
	全ての世界のエネルギーを生みだす創造主 全ての世界のエネルギーを見守る創造主 論理の創造主 理想の創造主 <b>制約の創造主</b>
	創造主を生みだす創造主 創造主の世界をうみだす創造主

	<p>主</p> <p>創造主を守護する創造主</p> <p>闇の創造主を守護する創造主</p>
	<p>全なる光の創造主</p> <p>光と闇を調和させる創造主</p> <p>全なる闇の創造主</p>
	<p>全ての母性を司る創造主</p> <p>時代を司る創造主</p> <p>すべての判断を見守る創造主</p>
	<p>光りの楽園の創造主</p> <p>新時代の公正さを司る創造主</p> <p>愛と覚醒の創造主</p> <p>新時代を司る創造主</p> <p>愛と慈しみの創造主</p>
	<p>全ての創造主の母親の創造主</p> <p>すべての世界の秩序を作る創造主</p>
創造主評議会	<p>全てを創造する創造主</p> <p>神々を生みだす創造主</p> <p>女神を生みだす創造主</p> <p>全てを創造するワンス創造主</p> <p>創造主の創造に許可を与える創造主</p>
	<p>空間を生みだす創造主</p> <p>位置を定める創造主</p> <p>宇宙のひな型を作る創造主</p> <p>創造主に学びを与える創造主</p> <p>楽しみを与える創造主</p>

	<p>完全なる太陽の創造主</p> <p>完全なる月の創造主</p> <p>全ての星を生みだす創造主</p>
	<p>全ての愛の源の創造主</p> <p>全ての光と闇を生みだす創造主</p> <p>完全なる真実をつかさどる創造主</p> <p>すべての者を神聖さに導く創造主は闇の創造主を作るー光を飲み込む創造主、幻影の創造主、殺戮の創造主、情念の女神</p>
5人の創造主	<p>○審判の創造主</p> <p>○天使を生みだす創造主</p> <p>○宇宙の時を生みだす創造主</p> <p>○進化を促進する創造主</p> <p>○すべてに叡智をもたらす創造主</p>
	<p>全ての世界の創造主</p> <p>全ての世界の源となる創造主</p> <p>完全なる愛と浄化の創造主</p>
	<p>光と闇の創造の創造主</p> <p>始原の創造主</p> <p>アペリコットの創造主</p>
	<p>エンドの創造主</p> <p>再生の創造主</p> <p>希望の創造主</p>
完全ある創造主	完全なる祝福の創造主

造主	完全なる歡喜の創造主 完全なる光明の創造主 完全なる分離の創造主 完全なる創造の創造主 完全なる調和の創造主 完全なる美の創造主 完全なる叡智の創造主
全ある創造主	全なる善行の創造主 全なる愛の創造主 全なる光の創造主 全なる生命の創造主 全なる虹の創造主 全なる陰陽の創造主 ゲートを開く創造主
	虹の光の創造主 融合の創造主 真実の創造主 全てを見渡す創造主 全てを現わす創造主
物理世界の系列を表す創造主	輝きの創造主 光と闇の統合の創造主 至高なる愛の創造主 永遠なる時の創造主
	無の創造主 祝福の創造主 太陽種族の創造主
12 神殿に関わる創造主	ソフィア族の創造主
	鳳凰族の創造主

	<p>永遠ある愛の女神</p> <p>黄金の女神 宇宙の意志</p> <p>ダイヤモンドの女神</p>
<p>高次の物理 世界の創造 主</p>	<p>セントラルレース</p> <p>セントラルイエス&amp;マリア</p> <p>モーゼ</p> <p>クリスタルレース</p> <p>デバインマスター</p>
<p>愛の源の世 界</p>	<p>愛の源の世界のマザー</p> <p>エンソフ ウィング</p> <p>アメンラー</p>
<p>物理的な宇 宙を統治す る創造主</p>	<p>ブラフマン 界王</p> <p>各銀河の創造主</p>



## 光りの世界の区分

### ○光りの世界の区分

ここでは、まず光の地球といっても一つではなく、光に応じていくつもの地球に分かれている事をお知らせしておきます。

そして、ここでは大まかに60%台、70%台と書いていますが、本当は、1%単位で世界が異なっていますが、大まかな区分のみで説明させていただきます。

今の地球の光と闇の割合は、およそ光 40%、闇 60%のようです。

この割合の世界では、まだ闇の力が強いので、戦争やテロ、殺人や虐待、人種差別などが起こりますが、光の割合が 50%を超えると、戦争や殺人などもほとんど起こらなくなります。また学びが必要な人には、その学びにふさわしい事が起こります。

60%台になると、愛と調和に満ちた人々が増えてきますので、人間としての完成を目指すような学びが始まります。

しかしそれは争いなどの人を傷つける事ではなく、どれほど愛を注げるか、とかどれほど人のために尽くせるかなどといった、とてもポジティブな学びになります。

また人々も、言葉でなくいしそつうができるようになりますので、嘘をついたり心の中に隠し事ができなくなるような世界になるかもしれません。

そしてさらに大切な事は、スターピープル達に対する理解が求められるようになります。

更に光りの度合いが 70%よりも強くなると、

学びが少なくなり、愛と共に生きるようになりますので、争いや差別などもほとんど起こらずに調和に満ちた世界が繰り広げられます。生きている人では 70%から 80%が最高クラスになるようです。

更に光りの割合が 90%を超えると、もう物理世界に生きている人はほとんどいなくなり、光の地球の存在として宇宙の運営に関わる仕事を始める事でしょう。

それでは、どのような人がどのような世界に入れるか、創造主の極秘事項ですが、こっそりお教えしますので、少しでも上の世界に入れるよう努力してください。

またこの事は、私達の主観ですので、違うと思う人は信じる必要はありません。



光 90 % 台 の 世 界 宇 宙 の マ ス タ ー の 世 界	宇宙の管理者となるべく学びを行う世界。 争いなどはなく、自らが愛と光りになるために学びを行う。 ここに入る人は、地球で起きている事をすべて理解し、常に真実を求め努力してきた人。
---	--

	<p>地球の中にある不正を知り、それを正すために戦い、地球と地球に生きる人々を自由に平和な者にするために、常に努力してきた人々。</p> <p>この地球の闇を知りながらも、憎しみを捨て愛によって生きてきた人達。</p> <p>人間としてのエゴを捨て、自分の人生を他人のために奉仕してきた人。</p>
<p>光 80 % 台 の 世 界 地球に生 きるマス ターの世 界</p>	<p>光90%の人達と同じように、地球の闇と闘い続けてきた人達の中で、未だ程よいエゴを持ち、生活を楽しまたいと考えて生きてきた人々。</p> <p>この世界では、自分のエゴや欲望を捨て、愛の人として生きる実践を行う。</p> <p>またスターピープル達の事を深く知り、彼らと共に働ける人。</p> <p>自分の感情に振り回されずに常にニュートラルな立場にあって真実を追い求める人</p> <p>地球と人の事を、愛をもって考え行動してきた人達が、肉体を失った後に行く世界。</p> <p>現実世界に生きる人も少数存在し、地球の人達が光りの世界に行くためのサポートをスピリチュアルレベル、現実レベルで行う。</p>
<p>光 70 % 台 の 世 界 物 理 的 な 光 の</p>	<p>常に正義と愛のために生きてきた人の中でも、程よい欲があり向上心がある人。</p> <p>欲望に振り回されず、欲望と感情を上手にコントロールできて、自分</p>

<p>地球での指導者の世界</p>	<p>の中の光と闇を統合してきた人。          スターピープルの事を理解し上手に付き合う事ができる人          この世界は、さらに上の世界に行くための通過点として、学びを行う人達が入る世界。          少数民族の人達の仲でも、一般社会を知りながらも、その社会に毒されず、常に祈りを行ってきたシャーマンや神官、少数民族の文化やしきたりを守ってきた人々。          ここに属する人は、これからの「光の地球」をしっかりと守護し、人々を導いていく立場にある。          いくつかの世界に分かれる光りの地球に、それぞれが配置され、世界を守護していく。</p>
<p>光60%の宇宙意識に目覚めるための世界</p>	<p>地球や宇宙の仕組みを学ぶために生きてきた人達で、さらにその学びを続ける人。          しっかりと愛や調和を目指して生きてきたが、まだ十分にその事が実現出来ておらず、自分の中の光と闇もしっかりと統合できていない人。          周りの人に対して愛と奉仕の気持ちを持って生きてきたが、今まで宇宙や地球に対しての理解も十分でなくスターピープル達の事もよく知らない人達が、そのための学びを行うための場所。          この世界ではおおきな争いや戦争、差別や虐待もなくなり、地球人同士でも愛に基づいた関係がはじまり、安らぎと光りに満ちた世界が生まれてくる。          少数民族でも、あまり物質社会を</p>

	<p>経験していない素朴な人達がいく世界。彼等はここで更なる学びを行う。</p> <p>この世界に入れる人は、この地球でもまだわずかです。</p> <p>この世界に入ると、今迄の地球とは格段と異なる世界に来たという事が分かるでしょう。</p> <p>どうかこの世界に入れるように努力してください。</p>
<p>光 60 % ～ 53 % の世界 光りが多 い 学 び の世界</p>	<p>ここから上が光の世界です。</p> <p>今の地球よりはさらに光がある世界で、今よりは、戦争や争い、虐待、殺人などは減り、お互いを思いやる事が普通にできる世界。</p> <p>今の世界よりは、愛と調和に満ち、人間同士の争いや自然破壊などもなくなり環境問題も解決していく。</p> <p>ここに行く人は、今の世界でも良心を持って生きてきた人で、人の役に立ちたいと考えて生きてきた人。</p> <p>強い欲望や支配欲を持った人や人と争う事が好きな人は入れない。</p> <p>人をだました人、人に不正を働く人、自己中心的な人は入れない。</p>
<p>光 53 % ～ 47 % の世界 光と闇の 境界の 世界</p>	<p>ここは光りの世界と闇の世界の境界線にあたる世界で、中間の世界とも呼ばれています。</p> <p>まだ行く先が決まっていない人や普通に生きてきた人達は这个世界に入る事が多いようです。この世界からどの世界に行くか決まるようです。</p> <p>スピリチュアルな仕事をしている</p>

	<p>人でも、物欲や支配欲、名誉欲のためにしている人は、ここからさらに下の世界に行く事になります。</p>
<p>光40% ～47% の世界 現在の 地球と同じ 学びの 世界</p>	<p>ここからが、アセンションとは反対にディセンションした世界となります。</p> <p>光40%台の世界は、今までとほとんど変わらない世界で、戦争や争い、テロ、詐欺、レイプ、傷害などが日常的に起こっている世界です。</p> <p>経済的な侵略によって、世界の人々は貧富の差が激しくなり差別を受けます。</p> <p>宗教、技術、論理もすべてが争いのために利用されます。</p> <p>この世界に行く人は、自然災害や戦争、原発の事故なども含め、現在の地球が体験する未来をともに体験する事になります。</p> <p>光が多い世界に行くための努力をしない人や自分や他人にたいして不誠実な生き方をしてきた人は、この世界にそのまま残るようです。</p>
<p>光30% 台の世界 闇が 多い 学びの 世界</p>	<p>今の地球よりもさらに闇が多くなりますので、現在よりも状況がはるかに悪くなります。</p> <p>戦争やテロが多発し、多くの人が争いや原発事故、自然災害に巻き込まれ苦難の多い人生を送る事になるでしょう。</p> <p>そして人々はその中で多くの事を学び目覚めていくための機会を待つ事になると思います。</p> <p>この世界には、多くの欲望に取り</p>

	付かれ、他人を支配したり傷つける事を好んで行ってきた人達がいなく世界になると思います。
--	---

## これから私達が歩む光の世界 について

### ○光が多い世界に行くための法則

今まであなた方は、私達創造主の思いを実現するために、この地球上でしっかりと活動してくださいました。

もちろん、皆さん一人一人の活動を行うにあたって予期せぬ事そして残念な事もたくさんありますが、それは仕方がない事です。

これも地球のアセンションにとっては大変重要な事であると考えてください。

現在、地球には、いくつものアセンションのためのゲートも開かれています。また現在のままの地球に残るゲートもたくさん開かれています。

今のままの地球に残る事は簡単ですが、アセンションのゲートに入るのは難しいのです。

光が多い世界に行ける人は、スピリチュアルな事に興味を持つ人の中では、それほど多い訳ではありません。

多くの方達が、スピリチュアルのセラピーを行ったり受けたりするなかで、様々な欲望に囚われたり、依存心が生まれたりしています。

そうすると、皆さんが本来行くべき光の世界から遠ざかっていきます。

一番、光の世界に向かわなければならない人達が、一番遠ざかっていくという事は本当に残念な事です。でも、光が大きくなれば、闇も大きくなるという地球がアセンションするための大切な法則なのです。



これからの世界は、今まで以上に多くの分離を経験する世界となっていく事でしょう。

今まで自分の中で、不要なものを分離し意識の統合を経験した人達が、それを望まない人達と分離していく事になります。

もちろん地球自身も、より大きな光に満ちた地球がそうでない地球と分離していく事になります。

それは、宇宙の法則に従って行われる事ですので、皆さんの個人的な感情や意識が入り込む隙間はありません。

たとえ皆さんが、どのように望まれようとも、宇宙の流れには、逆らう事はできないのです。

光が多い世界へ入ろうとする方達には、これからアセンションしていく地球をさらに導いていくための仕事が待っています。

新しい地球には新しい考え方が必要ですし、今までにないエネルギーや光が降ろされてきますので、それを現実世界で受け取り、この世界を変えていく人々が必要なのです。

今までの皆さんの活動は、この分離していく地球の中で、地球の純粋な光の部分を守っていただく仕事をしていただきました。

次は、その光の地球を育てていくための仕事です。

あなた方が、地球に人間として生れてきた本当の理由はこれからです。

新しい光の地球を生きていく事で、地球のアセンションを完成させてください。

恐れをすてて、新しい地球に入っていくために、あなたの中にある、光の存在としてのパワーを目覚めさせてください。

そしてあなた方は決して一人で歩むのではあ

りません。

そこには、新たな光の家族が生まれてくる事  
でしょう。

あなたのスピリットの本当の家族を見つけられ  
る事に喜びを持ってください

## ○光が多い世界に移り変わる事

これからあなた方が歩む世界についてお話し  
しましょう

もうしばらくは、光が多い世界とそうでない  
世界の混在した状態は続きます。

しかし、その分離はますます大きくなるでし  
ょう

光りが多い世界が分離するために、地震など  
も起こるでしょう。

光りが多い世界が、この地球から分離して新  
たな地球が生まれた後に、残念ながら今までの  
地球はさらなる原発の事故やテロリストに  
よる事件、そして戦争などが起こる事も予定  
されています。

しかし、あなた方が行くべき世界は、そのよう  
な事がない世界です。

人々の心の中には、穏やかなスピリット達が入  
っていきますので、同じような世界であっても、  
今までよりも優しく調和に満ちた出来事が起  
こってくる事でしょう。

政治も経済も、さらに良い方向に変わってい  
きます。

光の世界の地球では、政治家や経済人にも良  
心と愛が芽生えてきますので、争いやテロも  
少なくなりますし、自然災害も落ち着いてき  
ます。

もちろん、今と同じような政治や経済のシス  
テムも残りますが、これからは、利益のために

何をしてもよいという考え方はなくなります。そして、人に喜ばれる為には、自分は何を行い、何を分かち合えばよいのかという観点から、政治と経済は発展していくでしょう。

人々は、労働を行う事に喜びを見出し、サービスを受け取る事に対して、もっと謙虚になり、愛を持ってサービスを受け取る事ができるようになります。

その時のお金は、ひとつの価値基準として存在しますが、お金がすべて、という考え方もやがて変わっていく事でしょう。

国同士の連携や助け合いも、今まで以上に活発になりますし、隠れて非合法的な事をしている人達も姿を消していきます。

## ○スピリットと共に歩む世界

現在、発展途上国と呼ばれている国や少数民族の人達は、長い間の抑圧から解放され、自分達の進みたい道を歩み始める事と思います。

それは物質的な繁栄ばかりを望むのではなく、昔の人間達がそうであったように、自然の中に存在する精霊達と共に生きていく事に喜びを見出すような生き方です。

彼らは本来、物質的な繁栄を望むために、この世界に生れて来たのではありません。

彼らは、この地球の豊かさを守るために生れてきたのですから、彼らは自分のスピリットにあったライフスタイルへと戻っていくでしょう。

少数民族のなかには、アセンションした地球を経由して、光の世界に帰っていく部族達もい

るかもしれません。

彼らは、他の星や次元からこの地球に、学びと守護のために来ていますから、彼らは故郷に帰る事となるのです。

これから皆さんが歩いていく世界では、人々はスピリットと共に歩む事も、人々の常識となりますので、あなたが本を書かれた場合はとても歓迎される事でしょう。

スピリットとともに歩むという事は、自分自身のよち高次な意識と深くつながり、スピリットが地球に降りてきた目的や使命を理解し、その事に基づいて生きていく事になります。

現実世界での物質的な快樂や欲望に身を委ね続けている人は、光が多い世界に行きける事を望みませんので、そのような人達は少しずつ減っていきます。

生きる目的を見失って失望している人や人に依存して自分自身の努力を行わない人達も少しずつ減っていきます。

1人1人が、自分はどのような生き方をするのが楽しいのか、という事がわかってきますので、人間関係においてもどんどんトラブルや悩みが減っていきます。

そしてこの社会も、騙し合う事やお互いを支配する事がなくなるので、もっとシンプルになっていく事でしょう。

## ○愛について学ぶ人々

光りが多い世界に住む人々は、愛について深く学びます。

それも、誰かを独占して支配するための愛ではなく、お互いのエネルギーと優しさを分かち合うような愛、多くの人に奉仕するような

愛を、皆さんが学び始めます。

お互いを見つめる眼差しはもっと柔らかく崇高なものとなっていく事でしょう。

愛について深く学んだ人達は、心が開かれていきますので、言葉によらない会話を行う事も可能となります。

そうすると、異なる言語を持つ人達の間でも、言葉によらないコミュニケーションが行われる様になりますので、人種や国家の壁も少しずつ少なくなり、お互いの意識の共有化が進みます。

今までの地球では、多くの人の意識の根底に、愛よりもさらに大きな苦しみや憎しみ、嫉妬などの感情や人を支配したい、依存したいという欲望がありましたので、人間の共通の意識にそのような感情や欲望が多く見受けられました。

そのために、この地球には、これらの感情や欲望にもとづく様々な制限やトラブルが蔓延していました。

しかし、人々の心の中に「至高なる愛の意識」が目覚めていき、それが言葉ではないコミュニケーションで広がっていくにつれ、人々の心の中にある感情や欲望が癒されていきます。

地球人の意識の根底には、再び、愛の感情がより豊かになっていくのです。

すると地球上でも、いままで抑圧されていた愛の意識が開かれていく事になるでしょう。

人々が、お互いを信頼して調和に満ちて生きていける時が、再び訪れる事になるでしょう。

○アセンションした世界の子供達

そしてそのようなエネルギーの中で生まれ育った子供達は、新しい世界に行くための特別な感覚を身に着けていきます。

それは「自由である」という感覚です。

今までの地球は物理的な制限が多い地球でした。

もちろん、物理世界に生きているのですから、時間と空間の制限は受ける事は当然ですが、彼らのスピリットは、それらの制限からもやがて解放たれていくでしょう。

新しい子供達は創造力にあふれ、楽しみをクリエイトしていく天才です。

生きる事を「神聖なる遊戯」に変えていきます。

彼らの遺伝子構造はさらに豊かになり、より高次の存在や他の次元の存在とも自由にコミュニケーションができるようになる事でしょう。

新しい子供達は、高次のマスターから、常に啓示とパワーを受け取る事ができます。

今の私達には理解できない現象や考え方も、彼らにすれば、とても身近で当たり前の事として行っていくでしょう。

私達は、そのような彼らの自由な発想と生き方を尊重してあげなければなりません。

なぜなら、これからの世界を作るのは、私達ではなく彼等なのですから。

私達は、新しい光の世界に行く事で、意識を再編するような出来事を迎えるでしょう。

私達の意識は、まるでパソコンがアップデートするように、今までの古いシステムから新しいシステムへと変わっていくでしょう。

人によっては、その事に恐れを抱く人もいるかもしれませんが、決して恐れる必要はありません。

私達のスピリットはすでに、その事を選択して

# 制限の多い地球を卒業 するための試練につい て

先に進んでいるのです。

2015年11月21日 瀬戸 武志

アセンションに向かう人への真摯なお願い

○アセンションを前に、道が分かれてゆく人々

地球に住む人々は、現在、様々な状況に置かれています。

本来の光あふれる自分に戻る努力している人もいれば、これからも争いや支配欲、物質欲の世界にとどまる事を決めた人もいます。また、様々な世界を目の前にして、行くべき道が見つけられない人もいます。

現在、地球はいくつものパラレルワールドに分かれています。どのような世界も、その世界に行く人にとっては、重要な世界です。

自分のスピリット本来の役割を果たすために、光の世界に戻っていく存在達は、もうすでにスピリチュアルレベルでの分離は終了しているようです。

また、学びの世界に残る人も、自らの成長が不十分だと理解しているために、あえてその

世界に残り、肉体をもった人生の中で自らの務めを果たしています。

しかし、最近のスピリチュアル相談室やセミナー参加者の様子を見ていると、スピリチュアル的には、光の世界に行きたいと願っていても、自分の意識や現実的な判断の中で、学びの世界に強く引き戻されている人達が多いようです。

この事について、皆さんがどのようにしたら、自分の意識とスピリットを一つにして、望むべき世界にいけるのか、私が見る範囲でお話しします。

おそらく私の意見には同意しない人もいらっしゃるかもしれませんが、それは、お互いの立場が異なるという事でご了承ください。

## ○制限の多い地球を卒業するためのテスト

創造主達は、皆さんが本当に光ある世界に行きたいのか、また光の世界に行くだけの資質が育っているのか、私達を、厳しく判断しようとしています。

そのために、いくつものテストを私達に仕掛けています。

それは学びの地球を卒業するためのテストのようなものです。

光の世界に行くためには、物理的世界での過剰な欲望や愛されたいという感情、人や物に対する依存心などを捨てていかなければいけません。

皆さんは、今までの自分で、そのまま新しい世界に入っていけると思っているようですが、それは全く違います。

私達は、この欲望に満ちた物理的な地球を卒業しなければならないのです。



私達は、私達を束縛していた考え方や感情、欲望から自由にならなければ、今の世界から出ていく事はできないのです。

いくら、光の世界に行きたいといっても、欲望や感情に振り回された生活を送っていてもそれはかないません。自分自身の意識と感情を整理して、成長するための努力をしなければ、それもただの欲望です。

光の世界に行くという事は、すべてが満たされた世界に入って、自由に楽な生活ができるというわけではなく、そのような世界を作るために、一人一人の努力が求められる世界なのです。

その努力とは、自分自身を束縛しているものから自由になる事、そして自分と他人を分け隔てなく愛する事ができるようになる事です。

そのような「無償の愛」のエネルギーが、光の世界を生み出す原動力となるのです。

しかし、アセンションを願う人達の中にも、いま大きな欲望のエネルギーが渦巻いています。それは、アセンションする人達自らが自分自身の中にある不要となった感情やエネルギーを手放すために起こっている事ですが、往々にしてそれらの感情やエネルギーを操る「闇の世界の存在達」のコントロールを受けている場合も多いようです。

私達はその事を真剣にとらえ、自分の内側で何が起きているのか見極めていかなければなりません。

私達が向かう世界は、もうすでに学びの世界を形作っていた「闇の世界の創造主」や「闇の世界の存在」達とは切り離されつつあります。しかし、現実世界では、「光の世界につながる

通路」も「学びの世界につながる通路」「闇の世界の通路」も、皆さんの前に開いています。さらにいうならば、一人一人の意識の状態に合わせて数えきれないほどの多様な世界の通路(ゲート)が開いているといってもよいでしょう。

そのために、地球に生きる私達は、様々な世界から影響を受け、どちらの世界にも行く事ができます。

しかし、「学びの世界につながる通路」「闇の世界の通路」の奥にいる存在達は、皆さんが自分達の世界に来るように必死で誘いかけてきます。

彼らにとって、皆さんのスピリットはとても魅力的でどのような方法を使っても奪いたいものなのです。

私達は、創造主と共に、闇の世界の創造主達や闇の世界の存在に対して、光の世界に向かうべき存在達を欺いたり、強制的な方法で闇の世界に連れ込まないようにルールを作りました。

彼らは、そのルールのために、人々を無理やり闇の世界に連れ込む事はできなくなりましたが、本人の同意があれば、自由に光の存在達を捉え、学びの世界や闇の世界に連れ込む事ができます。

彼らは、表向きは立派な言葉や心地よいエネルギー、経済的な豊かさなどを装って皆さんに近づきますが、エネルギーの見極めができない人は、表面的な言葉や欲望に心動かされて、彼らの誘いに乗ってしまうのです。

そうすれば当然ごとく、皆さんのスピリットの自由は奪われ、皆さんが望むべき世界に行く事はできなくなります。

しかし、それも皆さん自身の判断として、光の

創造主達も大天使達も助ける事ができず、見守らなくてははいけないのです。

## ○スピリチュアルな世界の危険性

スピリチュアル世界の様々なヒーリングの中でも、お金儲けができるとか偉くなれる、他人をコントロールできるなどの特質をもつヒーリングはそのような世界から来ているものもあります。

皆さんが、見えるようになりたい、聞こえるようになりたいという気持ちの奥に、そのような能力を持つ事によって特別な存在になりたい、お客様をたくさん持って経済的に豊かになりたい、という気持ちがあるならば、その人はすでに、闇の世界の存在達の招待を受け取り、彼らとともに歩み始めた事になります。

知らないうちに、闇の世界のエネルギーを使う事で、急にそのような能力が目覚めたり、新たな力が生まれてきたりします。

そして周りからちやほやされたり、先生扱いされるようになり、多くの人から頼られるようになります。

最初はその事が心地よいように思え、経済的にも豊かになる事に満足を感じるかもしれませんが、多くの人々が、皆さんに依存してエネルギーをどんどん奪っていくようになります。

どうか、様々なヒーリングやセラピーに参加する前に、自分の心の働きを感じてください。

もし、このセミナーやセラピーを受けると、自分は助けてもらえるかもしれないとか、このセラピーを行えば、経済的に豊かになれる、自分が特別な存在として人に認めてもらえる、このセラピーを教えてくれる先生のように有名になれるなどという気持ちがあれば、どう

かそのセラピーやセミナーに近づかないでください。

自分の純粋な愛のエネルギーが心地よく感じられるセラピーだけを行ってください。

また物質に、自分の欲望や願いを入れ込んだものを作る事も決してお勧めできません。

それが地球の平和に向けられたものであるならばよいのですが、自分の欲望や願いを込めたものであるならば、自分のエネルギーフィールドの回りが、物質的な欲望を願うエネルギーで満たされ、どんどん重たいものになってしまいます。

自身の努力を横に置いて、そのようなものに頼るような資質は、自分の中に依存心を生み出すだけです。

アセンションする地球に行くために、最も捨てなければならないものの一つがこの「依存心」です。

自らの能力は、自らが開いていくものです。

天使やマスターはそのサポートを行う事もありますが、自分の願いをそのような物に託す必要はないと思います。

それよりも、もっと真摯な祈りと努力を行うように、考え方を変えていったほうがよいのでは、と思います。

## ○カード類の問題

多々あるカード類を使用している人達も考えなければならぬ事があります。

真摯にクライアントさんの事を考えるのではなく、誰が、どのようなエネルギーを用いて作ったかわからないようなカードを使用して、相手の人生の大切な問題にアドバイスを送るといふ事も、よく考えたほうがよいのではと思

います。

そのカードを使用する事により、カードを使用する人もアドバイスを受ける人も、共にそのカードのエネルギーに影響を受けてしまいます。私は、皆さんが、真摯にクライアントさんに向かい合う事によって、自分と相手の心の声を聴けるように、努力すべきだと感じています。

天使やマスター達は、本来は光の存在ですから、その人の意識の成長や地球の平和のために、皆さんをサポートするために来ています。彼らは、恋人が欲しいとかお金が欲しいとか、というような個人的な欲望に対しては、積極的には関わりません。

その事を積極的に行うのは、私達が「ブラック・エンジェル」や闇のマスターと呼んでいる存在達です。

ブラック・エンジェル達は、私達の欲望や情欲、支配欲、物質欲などをコントロールして、私達の気持ちを、欲望の世界へと向かわせます。

彼らは、欲望を持つ人達が、欲望を持つ事でどのような学びを行うか、という事に興味があります。

そのために、欲望を速やかにかなえてあげる事で、その人がさらに多くの願いや欲望を持つようにしていきます。

そして、最後は大きな破綻が待ち構えている事が多いのです。

現実世界でも、大きな文明や国家、あるいは会社などのリーダー達の中で、このような存在達と共に歩んできた人は悲しい結末を迎えています。

私達は、ライトボディヒーリングのセッションでも、皆さんの過去性の中で、このような闇の存在達とかかわりあうとどのような結末を迎

えるのかお知らせしましたし、またそのような問題も解決させていただきました。

できうる限り、目先の利益や効果をちらつかせるような存在とはかかわりあわないほうがよいと思います。

## ○ツインソウルの幻想

そして最近特に増えてきたのが、「ツインソウル」や「ソウルメイト」を自分の恋愛の対象として求めている人達です。

これはとても危険な事なのです。

本来ツインソウルは、自分の魂の片割れとして、自分の成長を助けるためにあります。

ツインソウルは、皆さんにとっては、決して恋愛の対象となるようなものではなく、自らを厳しく見つめなおし、自分の魂が完全な存在となるための多くの試練を与えます。

そのために、今まで隠していた感情やエネルギーが噴出し、恋愛どころか、お互いを憎みあう事さえも起きてしまいます。

あるいは、そのスピリットと出会う事で、皆さんの人生に劇的な変化を起こしてしまう事もあります。

しかし、ツインソウルや魂のパートナーに会いたいと考えている人の中には、ただツインソウル等と出会う、彼から愛してもらいたい、自分を女性として満たしてもらいたい、という欲望に動かされている人もいます。

ツインソウルやソウルメイトは、必ずしも異性として現れるものではなく、同性の友人や親子、あるいは会社の上司など、自分が苦手とする立場の人として現れる事もよくあります。

なぜなら、自分自身が持つ魂の不完全さや欠点、成長させるべきところを強烈に見せてく

れるのがツインソウルです。

その片割れとあったならば、強制的にそのような事が学びとして行われてきますので、ロマンスを楽しんでいる暇はないかもしれません。

またそこでロマンスが起きてきたら、そのロマンスを通して大きな事を学ぶような関係性ができてくる事でしょう。

皆さんのスピリットは、本当に光に向かっていますが、その最終的な場面で、このような女性としての一番弱いところを、闇の存在達からアタックされているのです。

私達が、その事を調べていくと、光の世界からはすでに撤退した闇の存在達のゲートが大きく関わっている事が分かりました。

現実世界では、まだ起きてはいないと思うのですが、本物ではない「ツインソウル」に心を奪われて、愛されたいという欲望の渦の中に流されないでください。

自分が今いる場所をしっかりと見つめ、自分自身が他人を愛してあげたいという「無償の愛」に目覚めてください。

現実の生活では、お金や家が必要だからご主人と一緒にいても、心は他の男性に奪われて、その人との時間を大切にして家族を顧みない、という事にならないでください。

この事が多くの女性メンバー達に起こっている事を、私達は何よりも危惧しています。

## ○幻想を乗り越えて、光の世界へ

この事を書いている途中にも、闇の世界をつかさどる大きな存在が現れ、創造主とともに処理していました。

それは、どのような存在にも姿を変え、皆さん

を巧みにだます事ができる闇のマスターです。

その存在は、皆さんが一番求めている存在に姿を変え、言葉巧みに誘います。

ある程度、見えたり聞こえたりできるようになった人達が、この存在のターゲットです。

ある時は女神、ある時は大天使の姿をして、皆さんを信頼させると、どんどんと光の世界に偽装した学びの世界に皆さんを引き連れていきます。

多くの宗教やカルト、ヒーリングのグループにも、この存在は深く関わり、皆さんの自由と成長を奪ってしまいます。

しかし、私達は、これらの事を学び終えなければならぬために、この事を経験しているのです。

いつまでも、ヒーラーや宗教、力を持った人などに頼り、依存心のままに生きていけば、やがて自立できなくなり、自らの魂も闇の世界の中で、進むべき道を見失ってしまいます。

様々なヒーリングやカード、グッズ類にも頼る事なく、あくまでも道具である事を自覚して使用してください。

それらの中には、精神安定剤のように、皆さんの素晴らしい意識を抑圧し、無意識のうちに皆さんのエネルギーを奪い去るものもあります。

エネルギーの見極めができないものに対しては、近づかないほうがよいでしょう。

そしてパワースポットや多くの神社などがある場所も、本来は自然の神聖な精霊が存在する素晴らしい場所でした。

しかし、多くの人が自分の欲望の拠り所としてしまったために、この地上に物質的な欲望を



もたらす存在や戦いや競争に勝つために手段を択ばないという存在達が居座ってしまいました。

皆さんがその場所で祈る事で、それらの存在と深くつながってしまう事もよくある事です。今までは、その事から起こる事も重要な体験でしたが、これから皆さんが行く光の世界では、もうこれらの事も必要ではなくなりますね。

つまり、これからの世界は、皆さんの心が唯一の判断基準となる世界です。

様々な欲望から、自分を自由にして生きていてください。

私達は、しばらく会社の仕事で忙しくなるので、いつまでも皆さんのお世話をすることはできませんが、皆さん一人一人が、光の世界にたどり着いてくださる事を、心から祈っています。

瀬戸武志 & 恵理      2016年2月26日